

令和 3 年度主要施策の成果説明書

荒 川 区

地方自治法(昭和 22 年法律第 67 号)第 233 条第 5 項の規定に基づき、
令和 3 年度荒川区歳入歳出決算に係る主要施策の成果説明書を提出しま
す。

令和 4 年 9 月 1 2 日

荒 川 区 長

西 川 太 一 郎

目 次

1	新型コロナウイルス感染症対策	1
2	生涯健康都市	5
3	子育て教育都市	12
4	産業革新都市	23
5	環境先進都市	37
6	文化創造都市	42
7	安全安心都市	50
8	計画推進のために	57

(参 考 資 料)

荒川区行政組織図	58
福祉・保健施設等位置図	59
子育て施設等位置図	60
教育・文化施設位置図	61
公園・児童遊園等及び運動施設位置図	62
区民事務所・ふれあい館・区民ひろば館・環境関連施設等位置図	63
広域避難場所・防災センター・防災広場等位置図	64

この成果説明書は、令和3年度当初予算の歳入歳出予算参考資料の主要事業について、その成果を掲載しています。

事業名の右側の数字は、①予算額、②決算額、③執行率を記載しています。
なお、【 】内の頁は、令和3年度荒川区各会計歳入歳出決算説明書の頁です。

1 新型コロナウイルス感染症対策

(1) 新型コロナウイルス感染症予防接種事業

①4,036,028 千円 ②3,845,132 千円 ③95.3%

【P213 5 新型コロナウイルス感染症対策事業費の一部】

希望する区民が適切にワクチン接種ができるよう、集団接種及び区内医療機関における個別接種、高齢者施設や障がい者施設への巡回接種、在宅要介護者宅等への訪問接種、エッセンシャルワーカーへの優先接種等、複数の手段を組み合わせたきめ細やかな接種を実施するなど、万全なワクチン接種体制を整備した。

★事業実績	接種件数（全体）	449,580件
	集団接種件数	298,763件
	個別接種件数	86,965件
	その他件数	63,852件

(2) PCR検査体制の確保

①87,530 千円 ②107,492 千円 ③122.8%

【P213 5 新型コロナウイルス感染症対策事業費の一部】

民間検査機関の活用や医療機関の協力の下、迅速かつ十分な検査体制を確保し、濃厚接触者などの行政検査が必要な方にPCR検査を実施した。

★事業実績	検査人数	72,434人
	陽性者数	15,430人
	陽性率	21.3%

(3) 病床確保協力金支給事業

①259,360 千円 ②234,720 千円 ③90.5%

【P213 5 新型コロナウイルス感染症対策事業費の一部】

入院治療を必要とする新型コロナウイルス感染症患者等が円滑、確実に病院に受け入れられるよう、関係医療機関と連携して病床を確保した。

★事業実績	病床確保数	最大20床（3医療機関と連携）
-------	-------	-----------------

(4) 発熱患者等に対応する医療機関への補助 ①90,000 千円 ②139,608 千円 ③155.1%

【P213 5 新型コロナウイルス感染症対策事業費の一部】

地域医療体制の維持を図るとともに、発熱等の症状がみられる区民が安心して身近な医療機関を受診し、新型コロナウイルス感染症の検査を受けられるよう、発熱患者等に対応する医療機関に対し、補助を継続した。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、医療機関における検査件数が想定より多く、執行が当初予算額を大幅に上回ったため、執行率の上昇につながった。

★事業実績

発熱外来及び診療検査対応をする医療機関への支援 54 医療機関

新型コロナウイルス感染症検査数 46,536 件

(5) 在宅要介護者の受入体制整備事業 ①18,123 千円 ②9,919 千円 ③54.7%

【P183 2(1) 介護サービス事業費の一部】

在宅の高齢者や障がい者を介護する家族等が、新型コロナウイルス感染症に罹患した場合に安心して療養等に専念できるよう、その濃厚接触者となった要介護者が緊急一時的に入所できる施設を確保した。また、在宅介護を希望する場合には、訪問介護職員を派遣する体制を確保した。

★事業実績 養護施設 2 件

医療機関 1 件

空床確保における費用 365 日分

(6) 介護・障害福祉等サービス事業所及び従事者への支援

①5,004 千円 ②4,472 千円 ③89.4%

【P187 20 介護サービス等提供体制強化事業】

【P191 13(3) 介護・障害福祉サービス等事業所特別給付金交付事業】

新型コロナウイルス感染症の感染者や濃厚接触者等にサービスを提供した従事者に対して、事業所が特別手当等を支給する場合の経費を補助することにより、地域の福祉を支える介護・障害福祉等サービス事業所の運営を支援した。

★事業実績

・介護事業所

延べ交付事業所数： 5 事業所、交付額： 1,027 千円

・障害福祉サービス事業所

延べ交付事業所数： 13 事業所、交付額： 3,443 千円

(7) 電話相談窓口の充実

①89,203 千円 ②58,132 千円 ③65.2%

【P213 5 新型コロナウイルス感染症対策事業費の一部】

区民の相談等にきめ細かく対応し、不安を軽減するため、引き続きコールセンターの医療スタッフを充実させるなど、相談体制の強化を図った。

★事業実績 相談件数 21,111件

(8) 傷病手当金の支給

①1,008 千円 ②1,958 千円 ③194.3%

【P319 1 傷病手当金】

荒川区国民健康保険の被保険者が、新型コロナウイルス感染症に感染した場合又は発熱等の症状があり感染が疑われた場合で、その療養のため仕事をすることができず給与等の支給がなかったときに傷病手当金を支給した。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、療養のため手当金を支給するケースが想定より多く、執行が当初予算額を大幅に上回ったため、執行率の上昇につながった。

★事業実績 傷病手当金支給件数 31件

(9) 経済急変対応融資（新型コロナウイルス感染症対応）

①306,114 千円 ②422,591 千円 ③138.1%

【P225 1(2) 利子補給の一部】

【P225 1(3) 信用保証料補助の一部】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により業績が悪化した区内事業者の経営の安定・維持を図るため、融資借受けに伴う金利や信用保証料の負担軽減策を実施した。

★事業実績

融資あっせん件数・金額	1,590件	10,654,980千円
融資実行件数・金額	1,461件	9,371,660千円
利子補給		81,431千円
信用保証料の補助		341,160千円

(1 0) 雇用調整助成金等申請支援補助事業 ①2,400 千円 ②2,091 千円 ③87.1%

【P229 19(2) 企業人材確保等推進事業の一部】

区内企業の雇用維持を目的として、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で雇用調整助成金等の申請を検討し、かつ、社会保険労務士へ申請代行する企業に対し、その費用を一部補助した。

★事業実績 雇用調整助成金等申請支援事業補助件数 27件

(1 1) プレミアム付き区内共通お買い物券発行の支援

①33,943 千円 ②78,085 千円 ③230.1%

【P229 14 商店街連合会補助の一部】

荒川区商店街連合会が行うプレミアム付き区内共通お買い物券の発行を支援し、区内の消費需要を喚起するとともに、区内経済の活性化や商店街の振興を図った。

3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済への影響を考慮し、プレミアム率を20%とするるとともに、第17弾の販売では、子育て世帯を対象としてプレミアム率を更に10%上乘せした特別券を発行した。

また、発行回数を年2回に増やしたため、執行が当初予算を大幅に上回り、執行率の上昇につながった。

★事業実績

第17弾プレミアム付き区内共通お買い物券(プレミアム率:一般券20%、特別券30%)

発行総額 209,871千円

第18弾プレミアム付き区内共通お買い物券(プレミアム率20%)

発行総額 144,000千円

2 生涯健康都市

(1) 地域ぐるみでの健康づくりの推進

①14,539 千円 ②8,443 千円 ③58.1%

【P209 6 地域ぐるみ健康づくり推進事業費】

区民の早世を予防し、健康寿命を延ばすことを目指し、生活習慣病の発症や進行を防ぐ健康的な生活習慣づくりに重点を置いた、「あらかわNO！メタボチャレンジャー」の育成、「あらかわ満点メニュー」や「おうち de 満点」、「外食栄養成分表示事業」等の食環境整備、「健康情報提供店」の普及、「禁煙チャレンジ応援プラン」をはじめとする受動喫煙防止・禁煙対策、「あらみんな体操」等の健康づくり体操の普及、「ころばん体操」による介護予防強化など、地域での健康づくり活動を支援し、健康寿命を延ばす取組を実施した。

また、「あらかわ健康ウォーキングマップ」を活用した、身近にできるウォーキングを取り入れた健康づくり環境の整備を図った。

★事業実績 荒川ころばん体操・せらばん体操

実施回数 339回 参加者延人数 6,570人

区報特集面「筋肉を鍛えて心も体も健康に」 9月21日号

(2) がん対策の推進

①296,105 千円 ②272,158 千円 ③91.9%

【P213 4 がん検診費】

日本人の死亡原因第1位である、がん（悪性新生物）対策として、荒川区がん予防・健康づくりセンターにおいて、胃、肺、大腸と女性の乳房、子宮の5つのがん検診を実施することにより、がんを早期に発見し、区民の死亡率減少を図った。

また、がん予防教育のため、学校と連携し、基礎的な生活習慣が身に付く子どもや保護者に対して、がん予防出前授業を実施した。

★事業実績	胃がん検診受診者数	12,483人
	(上記のうち胃内視鏡検診)	(4,052人)
	肺がん検診受診者数	13,512人
	大腸がん検診受診者数	17,668人
	乳がん検診受診者数	5,686人
	子宮頸がん検診受診者数	7,803人
	がん予防出前授業参加者数	4校 416人

(3) 糖尿病対策の推進

①517 千円 ②1 千円 ③0.2%

【P213 6 糖尿病対策推進事業費】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、荒川区糖尿病対策協議会や医療従事者向けの研修会等を中止したため執行率が低下したが、一般栄養相談及び医療機関からの紹介を受けて糖尿病患者を対象に実施している「糖尿病栄養相談」を継続し、発症予防から重症化予防まで一貫した糖尿病対策の推進に努めた。

また、野菜から食べる「ベジ・ファースト」と、野菜を1日に350g以上摂る「野菜350」をホームページ等で推奨することにより、糖尿病対策の更なる充実を図った。

★事業実績 糖尿病栄養相談件数 4件

(4) 糖尿病重症化予防等による医療費の適正化

①56,710 千円 ②44,731 千円 ③78.9%

【P301 8 医療費適正化対策事業費】

【P331 3 保健事業費】

診療報酬明細書（レセプト）等、医療健康情報を活用した医療費分析を行い、糖尿病の重症化予防対象者や多受診・重複多剤服薬対象者を抽出し、荒川区医師会や荒川区糖尿病対策協議会と連携して、服薬管理・食事療法・運動療法等の保健指導を実施した。

さらに、医療費分析により抽出された情報を活用して、被保険者にジェネリック医薬品の利用差額通知を送付し、ジェネリック医薬品への切替えを推進すること等により、医療費の適正化を図った。

★事業実績 糖尿病重症化予防指導人数 18人
多受診・重複多剤服薬者指導人数 6人
ジェネリック医薬品差額通知送付件数 10,667件

(5) 生活困窮者の自立支援

①447,268 千円 ②357,134 千円 ③79.9%

【P183 17 生活困窮者自立支援事業費】

生活困窮者の相談窓口として「仕事・生活サポートデスク」において、生活や住まいに困窮する方への居住支援（住居確保給付金・一時生活支援）や就労支援、家計に問題がある方への改善に向けた支援を実施した。

また、社会福祉協議会が実施する特例貸付を利用してもなお生活再建が困難な方に対し、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を支給し、就労による自立を促すとともに、就労が困難な方について円滑に生活保護の相談につなげた。

さらに、庁内関係部署やハローワーク、社会福祉協議会等の関係機関と緊密に連携を図り、個々の状況に合わせた相談支援を行うとともに、町会や民生委員、地域包括支援センター、居宅サービス事業者等との連携により、相談窓口や支援制度の周知及び要支援者の把握に努めた。

★事業実績 仕事・生活サポートデスク相談件数 7,191件

(6) 高齢者みまもりネットワーク

①144,023 千円 ②141,873 千円 ③98.5%

【P183 2(6) 緊急通報システム事業費】

【P183 2(11) 高齢者みまもりネットワーク事業費】

【P185 2(16) 高齢者配食見守りサービス事業費】

【P185 16 高齢者みまもりステーション運営事業費】

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、「高齢者みまもりステーション」を拠点として、ワンストップのサービスを提供するとともに、地域包括支援センターと連携し、必要なサービスにつなげる等の支援を行った。

また、緊急通報システムや、配食サービス、新聞販売店販売員等による見守りを行うことにより、高齢者の不安や孤立化を防いだ。

★事業実績 みまもり登録者数 4,995人

緊急通報システム設置台数 985台

配食見守りサービス 登録者数 957人（配食数 延べ 87,071食）

(7) 基幹相談支援センターを中心とした相談支援体制の充実

①30,577 千円 ②30,577 千円 ③100.0%

【P187 3(8) 基幹相談支援センター事業費】

基幹相談支援センターにおいて、障がいに関する相談支援の拠点として、総合的・専門的な相談業務を行ったほか、地域での支援のネットワークづくりを進めるなど、障がいのある方々が身近な地域で適切なサービスを受けることができるよう相談支援体制の充実を図った。

★事業実績 相談件数 1,498 件 (3年4月～4年3月)

(8) 電話代行サービス及び遠隔手話通訳サービスの実施

①5,214 千円 ②5,214 千円 ③100.0%

【P191 14(5) 聴覚障害者相談事業費の一部】

聴覚障がい者が区や病院等への連絡等を円滑に行えるよう、荒川区手話言語条例の制定を契機に導入した電話代行サービスを継続するとともに、区の窓口において、手話による円滑な手続を進めるためのタブレット端末を活用した遠隔手話通訳サービスを引き続き実施した。

★事業実績 電話代行サービス利用件数 896 件
遠隔手話通訳サービス利用件数 93 件

(9) 重度障がい者グループホーム支援

①10,278 千円 ②10,764 千円 ③104.7%

【P193 20(1) 重度障がい者グループホーム補助事業費】

重度の障がい者を受け入れる区内のグループホームに対して、運営経費の補助を実施することにより、事業運営の安定及び重度の障がい者の入居の促進を図った。

★事業実績 重度障がい者グループホーム運営費補助 3 件

(10) 親なき後の支援

①7,593 千円 ②2,529 千円 ③33.3%

【P193 21 親なき後支援事業費】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、既施設での感染防止対策が優先され、新たな施設の開設や増床に至らなかったことで執行率が低下したが、成年後見制度の普及啓発及び利用支援を行い、障がい者が安心して地域で生活できる環境を整備した。

また、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるため、障がい者の自立した生活を目指し、その将来像を描く「ライフプラン」作成等支援のためのライフプランナーによる個別相談を行った。

★事業実績 成年後見制度区長申立て件数 1 件
個人別ライフプラン相談件数 63 件

(11) 介護予防のさらなる推進

①460,093 千円 ②363,642 千円 ③79.0%

【P435 1 訪問型サービス事業費】

【P435 2 通所型サービス事業費】

【P435 4 その他生活支援サービス事業費】

フレイル予防や低栄養防止・口腔保健の向上等を目的とした講演会を実施するとともに、認知機能の向上や引きこもり・孤立化防止を目的とした事業を実施した。また、第一号介護予防通所・訪問事業、銭湯を活用した高齢者等の安心な入浴の確保など、自立した生活を支援し、介護予防の更なる推進を図った。

★事業実績 【訪問】

おうちでリハビリ	利用者数	延べ	793 人
おうちで栄養診断	利用者数	延べ	22 人

【通所】

まるごと元気アップ教室	利用者数	延べ	2,397 人
食・動クラブ つる	利用者数	延べ	734 人
食・動クラブ かめ	利用者数	延べ	2,274 人

【講座】

お口と食事の元気塾	参加者数	延べ	195 人
低栄養予防教室	参加者数	延べ	31 人

(12) 認知症施策のさらなる推進

①70,495 千円 ②64,251 千円 ③91.1%

【P437 1 介護予防普及啓発事業費の一部】

【P439 3(2) 認知症サポーター等養成事業費】

【P441 1 認知症総合支援事業費】

認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを更に推進するため、認知症について区民の理解を深めるとともに、認知症地域支援推進員が中心となり、発症早期の対応と医療に結び付けることで進行を抑えられるように、ものわすれ相談や認知症初期集中支援チーム等の活用を進めた。

★事業実績 認知症予防講演会実施回数

2回(参加者数 延べ39人)

※うち1回は動画配信で実施

認知症サポーター養成講座実施回数 31回(受講者数 延べ706人)

認知症オレンジカフェ助成事業補助件数 16か所

(13) 地域包括支援センターの機能強化

①156,861 千円 ②137,747 千円 ③87.8%

【P439 1 総合相談事業費】

地域の高齢者への総合的な相談支援窓口として、高齢者や家族からの介護保険サービスや介護予防プラン、権利擁護等の相談に総合的に対応するとともに、介護予防のケアマネジメントや地域ケア会議を通じて、地域の居宅介護支援専門員の相談及び支援を行った。

また、課題が複雑化・困難化している高齢者やその家族への対応については、高齢者福祉課内の機能強化型地域包括支援センターが支援を行い、各地域包括支援センターの対応力の強化を図った。

★事業実績

総合相談件数

延べ 75,146 件

権利擁護に関する相談、支援件数

延べ 7,214 件

ケアマネジメントに関する相談、支援件数

延べ 4,566 件

(1 4) 医療と介護の連携推進

①8,181 千円 ②7,759 千円 ③94.8%

【P439 1 在宅医療・介護連携推進事業費】

高齢者が住み慣れた地域で安心して在宅生活が送れるよう、必要なときに必要な医療や介護のサービスを切れ目なく提供できる体制の整備をより一層推進した。

また、在宅療養を支える多職種の専門職の連携を強化するため、在宅療養連携推進会議や医療連携会議を開催し、各部門の活動の共有や顔の見える関係づくりを進めるとともに、医療連携シートを活用した入退院時の情報共有を推進した。

あわせて、在宅療養への備えや看取りについて、区民の理解を深める講演会等を開催した。

★事業実績 在宅療養連携推進会議 2 回
 医療連携会議 1 回
 医療福祉相談件数 7 2 9 件

(1 5) 地域資源を活用した生活支援体制の整備

①38,932 千円 ②38,711 千円 ③99.4%

【P439 1 生活支援体制整備事業費】

地域活動報告会や講演会の開催などを通じ、地域で活動する個人や団体等の連携強化、ニーズと活動のマッチングなど、ネットワークの構築を行うことで、生活支援サービスの体制を整備した。

★事業実績 地域活動報告会 1 回
 地域活動希望者「担い手」登録数 9 9 人

3 子育て教育都市

(1) 荒川遊園リニューアル等

①1,984,914 千円 ②2,015,713 千円 ③101.6%

【P197 1 職員人件費の一部】

【P197 2 一般事務費の一部】

【P203 1 荒川遊園管理費】

【P203 2 荒川遊園事業費】

【P203 3 荒川遊園営繕費】

4年春のオープンに向け、3年度は、ハード面としては大型遊戯施設の新設工事、園内の広場や園路の整備、施設内の備品調達を進めた。ソフト面としては、遊戯施設運営事業者やどうぶつ広場運営事業者等の選定を行い、各業者と連携しながら稼働に向けた運営体制の整備を進めた。

新型コロナウイルス感染の感染拡大防止の観点から、子どもプール、キャラクターショー等の事業は昨年引き続き中止としたが、観覧車のライトアップや都電ラッピング車両の運行、テレビ番組の撮影等の受け入れ、定期的な SNS での情報発信等により、オープンに向けた機運の醸成を図った。



(2) 産後ケア事業の拡充

①12,508 千円 ②10,369 千円 ③82.9%

【P197 5 育児家庭支援事業費の一部】

出産後に家族等からの援助を受けることができない母子に対して、医療機関等で助産師等による育児支援や心身ケアを提供する産後ケア事業を拡充し、育児不安の解消を図った。

3年度は、母子保健法の一部改正に伴い、産後ケアの利用期間を出産後4か月未満から出産後1年未満に延長するとともに、「宿泊型」「日帰り型」「訪問型」のプランのうち、利用の多い「訪問型」について利用回数を拡大し、実施した。

★事業実績	宿泊型	延べ利用日数	276日
	日帰り型	延べ利用日数	28日
	訪問型	延べ利用回数	766回

(3) 子どもの居場所・子ども食堂の推進

①16,615 千円 ②9,914 千円 ③59.7%

【P197 9 子どもの居場所づくり事業費】

区内14か所で、学習支援や夕食を提供する生活支援など、子どもの居場所や子ども食堂を運営する団体を支援することにより、支援を要する子どもの健全な育成を図った。

子どもの居場所や子ども食堂などの実施団体、ボランティアセンター、フードバンク等の関係機関で構成するあらかわ子ども応援ネットワークの連携を強化し、より身近な地域で子どもたちが集まることができるよう、弁当の提供やフードパントリーなどコロナ禍での限定開催も考慮しながら支援した。

★事業実績 子どもの居場所 7か所 延べ利用者数 5,095人
子ども食堂 7か所 延べ利用者数 1,331人

(4) 保育所・幼稚園の給食費負担減免

①325,644 千円 ②292,532 千円 ③89.8%

【P197 10 私立幼稚園等補助事業費の一部】

【P197 13 私立保育園補助事業費の一部】

【P199 5 保育園管理運営委託費の一部】

【P199 4 保育園委託実施費の一部】

幼児教育・保育の無償化に伴い、実費徴収とされた3～5歳児の保育所の給食費を、区独自の公費負担により無料としたほか、幼稚園の給食費を月額7,500円まで無償とすることで、保護者の負担軽減を図った。

(5) 保育園及び幼稚園従事職員等への宿舍借り上げ支援

①346,060 千円 ②193,872 千円 ③56.0%

【P197 10 私立幼稚園等補助事業費の一部】

【P197 13 私立保育園補助事業費の一部】

【P201 11 家庭福祉員事業費の一部】

【P201 12 認証保育所助成事業費の一部】

保育園及び幼稚園の従事職員用に宿舍の借り上げを行う事業者に対し、区がその経費の一部を補助することにより、人材確保と離職防止を図った。

★事業実績 荒川区保育従事職員宿舍借上支援事業補助金 補助対象264人

(6) 定期利用保育の実施

①12,640 千円 ②4,086 千円 ③32.3%

【P197 13 私立保育園補助事業費の一部】

開設間もない保育園の空きスペース等を活用し、保育需要の高い1歳及び2歳の児童を対象に、一定期間継続的に保育を行うことにより、安心して子育てできる環境を整備した。

3年度は、保育施設の整備等が進んだ結果、保育施設へ入園できない状況が改善されたことにより、利用件数が例年より減少したため、執行率の低下につながった。

★事業実績 定期利用保育 延べ利用人数 637人

(7) 待機児童解消に向けた保育定員のさらなる拡大

①730,003 千円 ②530,650 千円 ③72.7%

【P197 14 私立保育園施設整備事業費の一部】

【P199 4 保育園委託実施費の一部】

保育需要に対応するため、新たな認可保育園の開設を支援し、待機児童の解消に向けた取組を継続的に行った。

★事業実績 4年4月1日現在 待機児童数 0人（前年度比21人減）

○ 開設：3年7月

・ さくらさくみらい西日暮里 （西日暮里4丁目） （定員：78名）

○ 開設：4年4月

・ なかよし保育園 （東日暮里1丁目） （定員：46名）

(8) 保育士及び幼稚園教諭への奨学金支援制度

①18,880 千円 ②9,006 千円 ③47.7%

【P197 16 保育士等奨学金事業費】

入学準備奨学金貸付事業の申請がなかったため、執行率が低下したが、引き続き、区内私立保育園等に保育士として5年間継続して勤務することを要件に、返済を免除する奨学資金の貸付を実施することにより、保育士を目指す方への支援を行った。

また、区内の私立保育園又は私立幼稚園等に、保育士又は幼稚園教諭として就職した方に対し、奨学金の返済費用を支援することにより、人材確保及び職場定着・離職防止を図った。

★事業実績	荒川区保育士等支援奨学金事業補助事業	補助対象者数	59人
		補助額	9,006千円
	荒川区保育士等入学準備奨学金貸付事業	補助対象者数	0人
		補助額	0千円

(9) 児童養護施設の整備

①153,092 千円 ②135,363 千円 ③88.4%

【P197 19 児童養護施設等整備事業費】

5 年度の開設に向けて、様々な理由により親と一緒に暮らすことのできない子どもたちを養育するとともに、里親支援の充実やショートステイ事業の実施など、社会的養護と地域の子育て支援の取組を推進するため、荒川八丁目の区有地に児童養護施設を整備する。3 年度は整備・運営法人と協定を締結して定期的な協議の場を持ち、施設整備や実施事業について連携して準備を行った。また、地元の理解を得られるよう、近隣住民を対象とした住民説明会を開催し、年度末に建設工事を開始した。

(10) ひとり親家庭支援の充実

①1,735 千円 ②1,542 千円 ③88.9%

【P201 2 ひとり親家庭自立支援給付金事業費の一部】

【P201 7 家庭相談事業費】

離婚後の生活や子育てに関する不安を軽減するため、離婚前からひとり親向けの支援施策や相談窓口等の情報提供を行った。

また、家庭相談員による親権や養育費の取決めに向けた支援に加え、3 年度から新たに公正証書等作成費用の助成を行い、養育費履行確保に向けた支援の充実を図った。

★事業実績 ひとり親家庭相談 延べ 件数 1, 5 3 4 件
ひとり親家庭就労相談 延べ 件数 3 2 1 件

(11) 放課後子ども総合プランの推進

①912,987 千円 ②857,661 千円 ③93.9%

【P203 8 放課後子ども総合プラン等事業費の一部】

全児童を対象に、学校施設等を活用し、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設ける放課後子ども教室（にこにこすくーる）を実施し、遊び、勉強、スポーツ、文化活動など様々な活動を通して、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を育んだ。

また、放課後子ども教室と学童クラブを一体的に整備・運営し、両事業を利用する児童が体験プログラムと一緒に参加できる環境を整え交流を図る「放課後子ども総合プラン」を推進した。

★事業実績 にこにこすくーる実施校：24 校（全校実施）
一体型総合プラン実施校：16 校
連携型総合プラン実施校：7 校

(12) 学童クラブの充実

①267,451 千円 ②252,953 千円 ③94.6%

【P203 9 学童クラブ運営費の一部】

保護者の就労等により、放課後に適切な保護を受けられない児童に対し、遊びと生活の場を提供するため、学童クラブ事業を実施した。

3年度は、学童クラブの需要増に対応するため、南千住六丁目学童クラブを開設するとともに、安定した供給体制を確保するため、定員を拡大した。

★事業実績 学童クラブ実施か所数：28か所

学童クラブ定員：2,025名

(13) 児童虐待防止対策事業の推進

①2,123 千円 ②969 千円 ③45.6%

【P203 2 子ども家庭総合センター事業費の一部】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、児童虐待防止のための普及啓発事業や講演会を中止したため、執行率が低下したが、要保護児童対策地域協議会など地域における関係機関との連携をより一層強化し、支援が必要な子どもや家庭を早期に発見又は把握し、個々の状況に応じた迅速な対応を図った。

(14) 出産・子育て応援事業

①35,909 千円 ②19,068 千円 ③53.1%

【P215 1 妊産婦保健指導費】

妊娠届出の際に、助産師等が全ての妊婦を対象に面接を行い、それぞれの実情に応じた支援プランを作成し、かかりつけ保健師を中心とした妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の構築を図った。また、面接の際には、妊産婦の子育てに関するカタログギフトを配付し、面接率の向上を図るとともに、妊婦や家族との関係づくりの機会とした。

★事業実績 ゆりかご面接実施件数 1,563人

(15) 乳幼児健診の充実

①70,846 千円 ②62,771 千円 ③88.6%

【P215 2 乳幼児保健指導費】

法律等で定められた時期に健康診査を実施することで、疾病等の早期発見に努め、養育者への適切な情報提供や保健指導により育児不安の解消を図った。

3年度は3歳児健診において「視覚スクリーニング検査」を導入し、健診内容の充実及び受診率の向上を図った。

★事業実績 4か月児健診受診者数 1,597人

1歳6か月児健診受診者数 1,562人

3歳児健診受診者数 2,563人

(16) ハートフル日本語適応指導

①11,796 千円 ②9,846 千円 ③83.5%

【P249 4 教育事業費の一部】

来日後の外国人幼児・児童生徒に対する日本語初期指導を行い、学校生活や社会生活にスムーズに適応できるよう支援した。

また、特に継続指導が必要な小学校5・6年児童及び中学校生徒を対象に、補充学習教室を実施した。

★事業実績 初期指導及び補充学習指導延べ人数 81人

(17) 防災ジュニアリーダーの育成

①2,597 千円 ②846 千円 ③32.6%

【P249 4 教育事業費の一部】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から被災地訪問を中止したため、執行率が低下したが、「荒川区中学校防災部」の活動を通じ、中学生に「助けられる人から助ける人へ」という意識や思いやりの心の醸成を図った。

★事業実績 防災部 部員数 321人

(18) 中学1年生の基礎学力向上事業

①9,254 千円 ②9,253 千円 ③99.9%

【P249 6 基礎学力向上費の一部】

区立中学1年生を対象とし、夏季休業を中心とした期間に各生徒の学習到達度に合わせた補習の機会を全中学校において設けた。教科は、英語、数学の2教科を重点教科とし、一人一人の学習到達度に合わせた内容とすることで、基礎的な学力の更なる向上、学習習慣の定着につなげた。

★事業実績

事業参加生徒数：217名、実施期間：7月～12月

(19) タブレットP Cを活用した学校教育の充実

①723,464 千円 ②708,534 千円 ③97.9%

【P249 6 基礎学力向上費の一部】

【P253 11 教育用コンピュータ運営費の一部】

【P257 11 教育用コンピュータ運営費の一部】

児童生徒の理解力に応じた個別学習をより効果的に行い、基礎的・基本的な学力を定着させるため、タブレットP Cを用い、児童生徒が自ら意欲的に学べるデジタル教材（ドリル型コンテンツ）を授業で活用する取組を全小中学校で実施し、児童生徒の主体性の育成を図った。

また、タブレットP C 1人1台体制の下、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う休校等による児童生徒への影響を考慮し、学校でも家庭でも学ぶことができるオンライン学習のための環境整備を図った。

さらに、「情報教育アドバイザー」を各校に週1回3時間程度派遣し、タブレットP C等のI C T機器を効果的に活用した授業の進め方などに関するアドバイスを通し、I C T教育全体に係る学校支援を充実させた。

★事業実績 タブレットP C配備数 14,432台

情報教育アドバイザー派遣回数 1,530回

(20) 小中学校英語教育の推進

①97,620 千円 ②88,330 千円 ③90.5%

【P249 7(1) 小学校英語教育の推進】

【P249 7(2) 中学校英語教育の充実・強化の一部】

英語による実践的なコミュニケーション能力を身に付けられるよう、小学校の1～4学年において週1時間、5・6学年において週2時間、英語の授業を実施した。

また、全小中学校に外国人英語指導員を配置し、英語の授業に加え、学校生活の中で児童生徒が外国人英語指導員と会話する機会を増やすことにより、総合的な英語力を育成した。

(21) 英語検定受検料補助

①3,383 千円 ②2,752 千円 ③81.4%

【P249 7(2) 中学校英語教育の充実・強化の一部】

全ての区立中学3年生を対象に、英語の4技能である「聞く・話す・読む・書く」の習得を客観的にとらえることができる実用英語技能検定の受検費用の補助を行うことで、実用英語技能検定の受検機会を確保し、英語力の育成につなげた。

★事業実績

5月実施分 311名、10月実施分 265名、1月実施分 4名

(22) 算数・国語大好き推進事業

①60,051 千円 ②52,557 千円 ③87.5%

【P249 8 算数・国語大好き推進事業】

学びの基礎となる算数と国語について、小学1・2年生を対象に、ティームティーチングにより、一人一人の子どもの状況に応じたきめ細かい指導を実施した。

(23) 学校パワーアップ事業

①111,484 千円 ②89,932 千円 ③80.7%

【P249 11 学校パワーアップ事業】

確かな学力の定着・向上を図るため、各校が「学力向上マニフェスト」を作成し、保護者・区民に明らかにするとともに、その結果を公表した。

また、学校教育ビジョンに掲げる「こころとからだの健全な育成」、「体験的な学習活動」の推進等を踏まえた、各学校の特色ある教育活動をより充実・活性化させるため、各校の創意工夫にあふれる教育活動を支援した。

(24) 幼児期からの芸術教育の充実

①1,343 千円 ②0 千円 ③0.0%

【P249 12 芸術教育の充実】

これまで各幼稚園で実施してきたノウハウ等を活かし、各園において独自に芸術教育を展開することとしたため、未執行となった。

(25) 教育相談事業の推進

①65,540 千円 ②56,106 千円 ③85.6%

【P251 1 教育相談費の一部】

児童生徒の問題行動の減少や不登校問題の解決を図るため、教育と福祉の両面に専門性がある「スクールソーシャルワーカー」を教育センターに配置するとともに、心理専門相談員による小中学校に対する巡回相談を実施することで、教育相談体制を強化した。

★事業実績 (小学校) 巡回相談実施回数 2,986回
(中学校) 巡回相談実施回数 1,145回

(26) 国語力の向上

①1,086 千円 ②828 千円 ③76.2%

【P251 4 学校図書館支援事業の一部】

荒川区版「推薦図書リスト」を全小中学校に配付し、学校図書館の豊富な蔵書を生かした読書活動を一層推進するとともに、「荒川区図書館を使った調べる学習コンクール」や「あらかわ小論文コンテスト」を実施するなど、国語力の向上を図った。

★事業実績 区立図書館を使った調べる学習コンクール 応募数 7, 788 点
あらかわ小論文コンテスト 応募数 7, 846 点

(27) 学校図書館活用の支援・推進

①178,509 千円 ②171,604 千円 ③96.1%

【P251 4 学校図書館支援事業の一部】

児童生徒の読書活動及び学習活動を支援するため、蔵書の充実・更新を図った。

加えて、全小中学校に、専門的な立場から学校図書館の運営や読書活動等を推進する学校司書を配置するとともに、小学校の大規模校に、学校図書館補助員を配置し、学校図書館の更なる活用を図った。

また、学校図書館に関する高度な専門性と識見を有する「学校図書館長支援員」、「学校図書館スーパーバイザー」、「教育センター司書」を教育センターに配置し、学校の読書活動を支援するとともに、司書教諭と学校司書が連携した授業での学校図書館の活用を全小中学校において実践した。

さらに、小中学校間や学校と地域との連携を図るため、「尾久地区読書活動活性化モデル事業」を推進した。

(28) 特別支援教育の推進

①459,636 千円 ②372,054 千円 ③81.0%

【P251 6 特別支援教育推進費】

特別支援学級や通常の学級に在籍する特別な支援が必要な児童生徒の学校生活や学習活動の支援を行う支援員や補助員・介助員を配置し、安定的な支援体制の構築を図った。

3年度は、第三中学校に特別支援学級を開設するとともに、中学校全校で特別支援教室を導入するなど、更なる教育環境の整備に努めた。

(29) ワールドスクール

①12,674 千円 ②1,947 千円 ③15.4%

【P253 8 学校行事の一部】

【P257 7 学校行事の一部】

英語教育の一環として、小学生は、6年生の児童が清里高原ロッジ・少年自然の家において、外国人英語指導員とともに4泊5日の共同生活を行う小学校ワールドスクールを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、宿泊での開催を取りやめて区内小学校に2日間の通い形式で実施した。

中学生は、特別区全国連携プロジェクトで連携している秋田市の協力の下、公立大学法人国際教養大学のプログラムに参加する中学校ワールドスクールを予定していたが、受入先からの要請により中止したため、執行率の低下につながった。

★事業実績 小学校ワールドスクール参加児童数 66人

(30) 教育ネットワークシステムの運用

①246,712 千円 ②230,709 千円 ③93.5%

【P253 11 教育用コンピュータ運営費の一部】

【P257 11 教育用コンピュータ運営費の一部】

高速通信回線を使用した教育ネットワークの環境を活用し、教科指導におけるICT活用、校務の効率化、情報セキュリティの強化等によって、教育内容の質の向上を図った。

また、3年度は、4年度からの新たな運用に向けて、システムの更新を行った。

★事業実績 教育ネットワークの整備(小学校24校、中学校10校)

(31) 学校給食の内容充実

①35,599 千円 ②32,383 千円 ③91.0%

【P255 1 給食事業運営の一部】

【P259 1 給食事業運営の一部】

「食育推進給食」として、献立等に工夫をこらした給食を実施することにより、食を考える機会を作るなど、食育啓発や給食内容の充実を図った。

★事業実績 食育推進給食による内容充実(小学校24校、中学校11校(九中夜間含む))

(32) 家庭教育・地域の教育力向上の支援

①4,261 千円 ②2,138 千円 ③50.2%

【P173 9(1) 家庭教育の向上】

【P173 9(2) 地域の教育力向上】

子育ての不安・負担感の軽減や「親育ち」につながる学習機会の提供、地域の教育力向上のため、動画配信やオンライン講座等の新たな手法も活用しながら、家庭教育学級・地域子育て教室等を実施した。加えて、子育てサークルや保護者会等が実施する自主的な講座等に対する支援を行った。

★事業実績

家庭教育学級

講座回数 14回、参加人数 151人

動画視聴回数（3講座で12動画を配信）878回

地域子育て教室

講座回数4回、参加人数40人

動画視聴回数（1講座で1動画を配信）189回

あらかわ「親育ち」支援事業

事業数 10回 参加人数 228人

地域教育力向上支援事業

支援団体数 7団体

4 産業革新都市

(1) 消費者啓発 ①3,564 千円 ②2,739 千円 ③76.9%

【P225 4 消費者啓発事業費】

複雑化する消費者被害を未然に防止するため、引き続き消費者講座を開催し、相談事例集や消費生活センターの周知用グッズ等を配布した。

また、高齢者の消費者トラブル防止のための啓発チラシを関係機関と連携して消費生活みまもり協力団体や、ひとり暮らし高齢者等に配布し、悪質商法、特殊詐欺の防止を図った。

さらに、成年年齢引下げに伴う若年層への啓発を図った。

★事業実績 出前講座 48回（うち資料提供のみ11回）

(2) 消費者相談 ①24,450 千円 ②24,005 千円 ③98.2%

【P225 5 消費者相談事業費】

区民等の消費生活に関する相談に対し、情報提供や助言、あっ旋、他機関への紹介を行い、区民生活の安定・向上を図った。

また、多重債務者問題に対応するため、弁護士による特別相談を実施した。

★事業実績 相談件数 1,492件

(3) 中小企業融資 ①1,238,272 千円 ②1,134,877 千円 ③91.7%

【P225 1(1) 中小企業融資原資】

【P225 1(2) 利子補給の一部】

【P225 1(3) 信用保証料補助の一部】

【P225 1(4) 融資事業事務費】

厳しい経営環境にある区内中小企業に対し、経営の安定、活性化及び承継をより一層推進するため、融資借受に伴う金利や信用保証料の負担軽減策を実施し、円滑な資金繰りを支援した。

★事業実績	融資あっせん件数・金額	138件	841,860千円
	融資実行件数・金額	116件	632,180千円
	利子補給		113,177千円
	信用保証料の補助		15,406千円

(4) 区内中小企業景況調査

①555 千円 ②525 千円 ③94.6%

【P225 2 区内中小企業景況調査費】

四半期ごとに区独自で区内企業の景況調査を行い、様々な業種のタイムリーな景況の把握に努めた。

★事業実績 200事業所を対象に調査（四半期ごとに一回）

第1四半期 182事業所（回収率91.0%）

第2四半期 174事業所（回収率87.0%）

第3四半期 154事業所（回収率77.0%）

第4四半期 169事業所（回収率84.5%）

(5) 産業情報紙の発行

①5,797 千円 ②5,712 千円 ③98.5%

【P225 3 産業情報紙発行費】

区内事業者に対する情報提供の充実を図るため、紙面を刷新した産業情報紙「あらかわ産業ナビ」を隔月発行した。

★事業実績 発行回数：6回（奇数月発行）

発行部数：各回7,000部発行

(6) 中小企業倒産防止共済等加入助成

①5,920 千円 ②3,938 千円 ③66.5%

【P225 5(2) 中小企業倒産防止共済等加入助成事業】

国が実施する「中小企業倒産防止共済制度」や「小規模企業共済制度」に、新たに加入する事業者の掛金の一部を助成し、連鎖倒産の防止や経営者の事業廃止後の生活安定を支援した。

★事業実績 中小企業倒産防止共済加入助成 助成件数 22件

中小企業退職金共済加入助成 助成件数 1件（2名）

小規模企業共済加入助成 助成件数 25件

(7) 高度特定分野専門家派遣

①3,908 千円 ②2,412 千円 ③61.7%

【P225 5(4) 高度特定分野専門家派遣事業】

区内企業の経営課題の解決や経営基盤強化のほか、高度化・高付加価値化する新製品・新技術開発や各種補助金の申請書作成を支援するため、実務に精通している専門家を派遣した。

★事業実績 派遣時間 50件 190時間

(8) 中小企業者の経営力向上の支援 ①133,083 千円 ②138,642 千円 ③104.2%

【P227 5(5) 製造業等経営力向上支援事業】

【P229 21 商業・サービス業経営力向上支援事業費】

労働生産性向上や販売力・集客力強化につながる設備投資及びITツールの導入等を行う区内中小企業に対し、経費の一部を助成したほか、中小企業診断士等の外部専門家による助言を併せて行うことで、経営力の向上を支援した。

また、新型コロナウイルス感染症対策として設備投資等を行う区内中小企業者に対し、経費の一部を助成した。

★事業実績 設備投資等補助 助成件数 162件

新型コロナウイルス感染症対策設備投資等補助 助成件数 199件

(9) 次世代へのバトンタッチ（事業承継・終了）支援

①6,306 千円 ②5,241 千円 ③83.1%

【P227 5(6) 次世代へのバトンタッチ（事業承継・終了）支援事業】

区内事業者における経営者の高齢化や事業廃止の動向等を踏まえ、定期的なセミナーの開催による事業承継への意識啓発をはじめ、区内の商工団体及び金融機関等の関係団体との連絡協議会の開催、事業承継の専門家による訪問相談等、次の世代へ円滑な承継ができるよう、「早期の準備」を多面的に支援した。

★事業実績 セミナー開催回数 6回（視聴回数 797回）

フォーラムの開催回数 1回（参加者 30人）

訪問相談件数 14社 29回

(10) 生産性向上指導員の派遣

①952 千円 ②561 千円 ③58.9%

【P227 5(7) 生産性向上指導員派遣事業】

現場カイゼンに関心のある事業者に対し、その知見を有する指導員を派遣し、継続的な指導及び助言を行い、生産性向上を支援した。

★事業実績 指導員派遣 2件（延べ 22回）

(1 1) モノづくり企業の地域共生の推進

①21,500 千円 ②0 千円 ③0.0%

【P227 5(8) モノづくり企業地域共生推進事業】

地域との共生を図る取組を通じて、持続的な発展を希望する区内事業者が行う、防臭、防災、防振に係る設備の改修等に要する経費の一部を助成することで、近隣の生活環境の改善・向上を図るとともに、区内における事業継続の支援することを目的としている。

ホームページや区報等により積極的に本事業のPRに努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響による経営状況の悪化で、資金繰り不安等がある中、直接的に自社の収益につながらない操業環境改善や耐震補強等への取組を事業者が控えたこと等により、区内事業者からの申請がなかったため、未執行となった。

★事業実績 助成件数 0 件

(1 2) 経営革新等支援

①33,768 千円 ②17,921 千円 ③53.1%

【P227 6(1) 経営革新等支援事業】

新製品・新技術の開発、見本市や催事等への出展、ISO認証取得、産業財産権取得、従業員の人材育成に取り組む区内企業に対し、経費の一部を助成することにより、経営の革新を支援した。

★事業実績	新製品・新技術開発	助成件数	8 件
	見本市出展	助成件数	3 5 件
	ISO認証取得	助成件数	1 件
	産業財産権取得	助成件数	2 3 件
	セミナー等受講	助成件数	0 件
	魅力発信動画制作補助	助成件数	6 件

(1 3) あらかわ経営塾の運営

①1,716 千円 ②1,147 千円 ③66.8%

【P227 6(2) あらかわ経営塾運営費】

区内企業の経営革新への取組を支援するため、経営者、経営幹部、後継者等を対象に、中小企業等経営強化法に規定する「経営革新計画」等の策定を通じ、戦略的な経営計画の策定と計画推進のための手法を習得する経営塾を開催した。

★事業実績 あらかわ経営塾修了者 7 人

(14) 日暮里経営セミナー

①335 千円 ②0 千円 ③0.0%

【P227 6(3) 日暮里経営セミナー事業】

業務連携を行っている独立行政法人中小企業基盤整備機構と共催して「日暮里経営セミナー」を年2回開催し、区内企業の競争力強化等に有益な情報を提供した。

3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、オンラインで実施し、経費を要しなかった。

★事業実績 セミナー開催回数 2回 (1回目 28人、2回目 18人)

(15) 製造事業者等の販路開拓支援の強化

①18,184 千円 ②6,676 千円 ③36.7%

【P227 6(5) 販路開拓支援事業】

共同出展者の出展のしやすさの観点から、実施時期を勘案し、機械要素技術展への出展を中止したため、執行率が低下したが、元年度に新たに立ち上げたモノづくりブランド「a r a ! k a w a」による商品のブランド認定等の取組を通じ、消費者向け販売 (B t o C) における販路開拓を更に支援するとともに、「モノづくりの街あらかわ」を広くPRした。

併せて、販路開拓のノウハウを学ぶ「販路開拓セミナー」の開催、「販路開拓コーディネーター」による事業者への個別支援により、事業者の販路開拓力の向上を支援した。

★事業実績 セミナー開催回数 3回

(第1回オンライン開催 参加者数 11人)

(第2回動画配信 受講者数 17人)

(第3回動画配信 受講数 10人)

(16) モノづくりクラスターの形成促進

①29,565 千円 ②26,586 千円 ③89.9%

【P227 8(1) モノづくりクラスター形成促進事業】

顔の見えるネットワーク構築やフロントランナーの育成を軸とした荒川版産業クラスターの形成を目指す「荒川区モノづくりクラスター (M A C C : マック) プロジェクト」を推進した。

また、M A C C コーディネーターによる企業に対する支援・マッチング等を引き続き積極的に実施することにより、新事業、ベンチャー企業の創出、既存企業の第二創業や経営革新を図り、区内産業の活性化を促進した。

★事業実績 オンラインセミナー参加者数 28名

(17) 産学連携の推進

①15,304 千円 ②8,873 千円 ③58.0%

【P227 8(2) 産学連携推進事業】

大学・研究機関等と連携して新製品・新技術の開発に取り組む区内企業に対し、経費の一部を助成する等により、新事業の創出を通じた区内産業の活性化を図った。

また、地域金融機関及び大学と連携し、金融機関職員による企業の事業性評価（目利き力）の向上を通じて、区内企業の発展を支援した。

★事業実績	産学連携研究開発助成	1 件
	・古紙を利用した新規建材用途の開発に関する研究	
	地域産業活性化研究助成	3 件
	・「あらかわ簡易版 BCP チェックシート（地震・風水害編）の活用方策調査」（東京都立大学）	
	・「街に隠れた魅力を発見・発信していくためのツールのデザイン研究」（東京都立大学）	
	・「荒川区の中小企業と地域のSDGsブランディングと海外情報発信の基盤構築」（東洋大学）	
	試験研究機関活用支援助成	7 件
	企業課題相談支援助成	1 件
	荒川区地域産業活性化パートナー 認定	10 名

(18) 区内での創業支援の強化

①5,062 千円 ②3,691 千円 ③72.9%

【P227 8(3) 地域産業創出プロジェクト推進事業】

創業に向けたレベルの高い実践的なセミナーの実施とビジネスプランの公募により、意欲的な起業家を発掘した。

また、優れたビジネスプランについては、事業化に向けて専門家による指導、区内で創業した際の事務所等賃料補助など、より実効的な支援を実施することにより、新事業を育成し、区内産業の更なる発展を図った。

★事業実績	コンテスト応募件数	31 件
	受賞者	9 名
	事務所等賃料補助助成件数	1 件（元年度受賞者）

(19) 創業支援事務所等の賃料助成

①8,270 千円 ②5,851 千円 ③70.8%

【P227 9(1) 起業家支援育成事業の一部】

区内で事務所等を借りて事業を開始する際に、審査を経て2年間を限度に事務所等賃料の補助を行い、区内での起業・創業を促進することで、区内産業の振興と雇用等の創出を図った。

★事業実績 助成件数 20件

(20) ファッション関連創業支援施設（イデタチ東京）の運営

①35,486 千円 ②31,845 千円 ③89.7%

【P227 9(2) ファッションクリエイター向け創業支援施設運営費】

日暮里地域活性化施設（ふらっとにつぼり）内創業支援施設において、ファッション関連産業での創業や経営力向上を目指す個人及び中小企業者に対し、インキュベーションマネージャー等による支援を通して、創業機会の創出と経営力の強化を推進することにより、地域産業の活性化を図った。

★事業実績 オンラインセミナー開催 4回（参加者 延べ475人）

(21) クラウドファンディング活用支援事業

①1,500 千円 ②937 千円 ③62.5%

【P227 9(3) クラウドファンディング活用支援事業】

クラウドファンディングサービスを活用し、資金調達を行う事業者に対し、当該サービス利用等の手数料の一部を補助した。

★事業実績 助成件数 7件

(22) 創業支援コワーキング事業

①8,444 千円 ②8,276 千円 ③98.0%

【P227 9(4) 創業支援コワーキング事業】

日暮里地域活性化施設（ふらっとにつぼり）において、多様なバックグラウンドを持つ潜在的な創業志向者層が気軽に立ち寄れる場所を開設し、自由で活発な交流の中から新ビジネスのアイデアが生まれる機会を創出することにより、地域経済の活性化を促進した。

★事業実績 開設日数 80日
利用者数 延べ113名
新規会員登録数 142名

(23) 商店街活性化の総合支援

①92,792 千円 ②43,706 千円 ③47.1%

【P227 12 商店街活性化総合支援事業費】

商店街及び商店街連合会の販売促進やイベント開催、ハード整備・ソフト対策等の商店街活性化事業を計画段階から実施に至るまで総合的に支援した。

3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、イベント事業等を中止した商店街が多かったため、執行率の低下につながった。

★事業実績	活性化事業	10 商店街、1 団体	11 件
	イベント事業	9 商店街	14 件
	特売奨励事業	1 団体	2 件
	産業活性化事業	5 団体	5 件

(24) 商店街ルネッサンスの推進

①8,995 千円 ②4,161 千円 ③46.3%

【P227 13 商店街ルネッサンス推進事業費】

らく楽商店街宅配事業について、年間を通して配達員等を確保することが難しかったこと、また、魅力ある店舗創出支援事業について、商店街の活性化に資する個店改善の相談などはあったものの、補助金の申請には至らなかったことなどにより、執行率が低下したが、地域コミュニティの核となる商店街の活性化を図るため、街なか商店塾の推進による個店の魅力向上策等の事業を推進した。

★事業実績	街なか商店塾	参加店舗	28 店
-------	--------	------	------

(25) 日暮里繊維街の活性化支援

①12,557 千円 ②12,079 千円 ③96.2%

【P229 15 日暮里繊維街活性化支援事業費】

「繊維の街・ファッションの街 日暮里」の定着を図り、集客力や賑わいの向上を図るため、日暮里繊維街等が開催するファッションデザインコンテスト等を支援した。

★事業実績	3年11月5日～12日開催		
	コンテスト作品応募数	5,323 件	
	公開展示会来場者数	802 人	

(26) 公衆浴場の振興

①17,717 千円 ②10,671 千円 ③60.2%

【P229 17 公衆浴場振興事業費】

公衆浴場の設備近代化を図るための設備改善や、健康増進型公衆浴場改築等の経費の一部を助成することにより、公衆浴場の経営の安定化を支援した。

また、クリーンエネルギー化対策として、主たる使用燃料を重油等から都市ガスに転換する浴場に対し、その諸経費やガス燃料費を助成した。

さらに、公衆浴場の需要喚起を図るため、東京都公衆浴場業生活衛生同業組合荒川支部が実施するサービス事業（少年スポーツ大会応援、スタンプラリー、銭湯展、季節湯、ぷらっと湯、銭湯マップ作成等）の経費を助成した。

★事業実績

公衆浴場需要喚起対策補助	少年スポーツ大会応援事業	2 大会
	スタンプラリー	1 回
	あらかわ銭湯展	1 回
	季節湯	5 回
	ぷらっと湯事業	1 9 浴場
	銭湯マップ作成	7, 0 0 0 部
設備改善補助	8 店舗が計	1 7 回利用
ガス燃料費補助	1 2 浴場が利用	

(27) 就労・人材確保の支援

①33,677 千円 ②30,558 千円 ③90.7%

【P229 19(1) 就労支援事業費】

【P229 19(2) 企業人材確保等推進事業の一部】

【P229 19(3) マイタウン就職面接会運営費】

【P229 19(4) 事業所功労者表彰事業】

【P229 19(5) JOB コーナー町屋管理運営費】

【P229 19(6) 若者就労サポート事業】

【P229 19(7) 女性就労サポート事業】

【P229 19(8) シニア就労サポート事業】

①あらかわ就労支援センターを拠点とした支援

若年者、女性、高齢者を対象とした就労支援セミナー・講座の開催をはじめ、足立公共職業安定所（ハローワーク足立）、日暮里わかものハローワーク、マザーズハローワーク日暮里などと緊密に連携し、引き続き J O B コーナー町屋の運営を行った。

★事業実績	若者向け就労支援セミナー参加者数	65人
	女性向け就労支援セミナー参加者数	53人
	高齢者向け就労支援セミナー参加者数	101人
	J O B コーナー町屋利用者数	6,520人

②相談窓口支援

若年者向けの相談窓口「わかもの就労サポートデスク」、女性向けの相談窓口「女性のおしごと相談デスク」、高齢者向けの相談窓口「シニアのおしごと相談デスク」において就職に対する不安の解消やアドバイス・関係機関についての情報提供、キャリアカウンセリングを行い、各年代に向けた就労支援を行った。

★事業実績	わかもの就労サポートデスク利用者数	1,316人
	合宿型就労訓練参加者数	2人
	女性のおしごと相談デスク利用者数	245人
	女性のキャリアアップ講座参加者数	23人
	シニアのおしごと相談デスク利用者数	170人

③区内企業の人材確保・定着支援

区内におけるモノづくり企業等の求人ニーズに対応するため、専門職員を配置し、専門ハローワーク等と連携し、募集から人材採用に至るまでの一貫したコンサルティングを行う人材確保支援事業を実施した。

また、R P Aやテレワーク等の新技術を導入し、生産性を向上させることで従業員の労働時間削減を検討している企業に対し、新技術の導入メリットを紹介するセミナーを実施した。

★事業実績 (1 新型コロナウイルス感染症対策に記載)

※R P A等導入セミナー (オンライン開催)

4年2月25日開催

参加企業14社

※R P A…Robotic Process Automation の略。オフィスでの定型業務を自動化する技術であり、手作業の削減や業務高速化により労働生産性の向上が期待できる。

(28) 魅力あふれる個店づくりの支援

①2,338 千円 ②666 千円 ③28.5%

【P229 20 魅力あふれる個店づくり事業費】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、分科会の集客イベントの開催を見直し、店舗でのPR活動等に変更したことなどから、執行率が低下したが、意欲ある個店の魅力向上を図るとともに、個店間のネットワークづくりを推進するため、専属のコーディネーターが個別の経営課題に対するアドバイスやメールマガジンによる情報配信を行ったほか、交流会を兼ねたセミナー等を開催し、商店主をサポートした。

また、個店間の連携から創出される新たなアイデアや取組を支援し、商店街及び区内商業活動の振興を図った。

★事業実績	参加個店数	68店
	セミナー&交流会実績	9回
	メールマガジン配信数	17回

(29) 日暮里地域活性化施設（ふらっとにっぽり）の運営

①61,057 千円 ②49,624 千円 ③81.3%

【P229 22 日暮里地域活性化施設管理運営費】

ファッション関連産業の創業支援施設（イデタチ東京）や、様々な創作活動ができる創作スペース・工房、産業振興を目的とした会議やイベント等に活用できる多目的スペース、日暮里繊維街来訪者や来館者のための総合案内、休憩スペースを備え、日暮里区民事務所を併設した、日暮里地域活性化施設（ふらっとにっぽり）を管理・運営し、地域の活性化に寄与した。

(30) 荒川区モノづくりセンサス

①8,436 千円 ②8,949 千円 ③106.1%

【P229 23 荒川区モノづくりセンサス】

29年度に実施した「荒川区モノづくりセンサス」から、一定期間を経過したことから、改めて区内製造業等の経営実態を調査し、地域産業の活性化に向けた有効な施策の実施に活用した。

また、今回は、製造業等以外の区内中小企業者においても新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響についての実態を把握するための調査を併せて実施した。

なお、調査は中小企業診断士が戸別訪問し、経営課題への助言を行うとともに、内容に応じて区や関係機関の支援事業につなぎ、課題解決の一助となるよう取り組んだ。

(3 1) 観光情報の提供

①10,749 千円 ②9,657 千円 ③89.8%

【P231 1(1) 観光情報提供事業】

区のイメージアップと誘客の促進を図るため、区ホームページやツイッターを活用するとともに、新たに荒川区版ことりっぷを作成し、書店等で無料配布する等、区の魅力を広く発信した。

また、元年度に作成した、観光アプリ「あらかわさんぽ」に、新たに「デジタルスタンプラリー機能」を実装し、この機能を活用したスタンプラリーを開催することで、アプリ利用者の増加を図るとともに、区内の回遊性を高め、地域経済の活性化を図った。

★事業実績	観光情報PR協力所	77か所
	観光アプリダウンロード実績	1,145件 (リリースから4年3月末までの累計2,287件)
	「ことりっぷ日暮里」発行部数	28,200部 (うち書店での配布分10,000部)
	「あらかわさんぽ」スタンプラリー参加者数	226名
	※賞品応募者数	

(3 2) あらかわの伝統野菜のPR

①554 千円 ②17 千円 ③3.1%

【P231 1(3) あらかわの伝統野菜PR事業】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、イベント会場での販売を中止し、会場設営等の費用が発生しなかったことから、執行率が低下したが、区役所地下食堂で三河島菜フェアを開催し、食材に三河島菜を使用したランチを提供することにより魅力を発信した。

★事業実績	三河島菜フェア	592食
-------	---------	------

(33) 産業観光の推進

①12,630 千円 ②9,941 千円 ③78.7%

【P231 2(1) 産業観光推進事業】

区の特徴の一つである伝統工芸技術職人や荒川マイスター等モノづくり産業を生かした観光振興を推進するため、工場や工房等において製造過程の見学・体験ができる「モノづくり見学・体験スポット」の新規募集を行うとともに、コロナ禍において自宅でも荒川区のモノづくりが体験できるモノスポ手作りキットの販売を行った。

また、区をテーマにした謎を解くことで、賞品に応募できる謎解きイベントを実施することにより、区の認知度向上、来訪意欲の創出を図った。

★事業実績	モノづくり見学・体験スポット	33か所
	おうちでモノスポ参加者数	67名
	日暮里謎解きイベント参加者数	3,231名
	※賞品応募者数	

(34) 都電荒川線の活用

①318 千円 ②0 千円 ③0.0%

【P231 2(2) 都電荒川線活用事業】

区外から多くの観光客を呼び込むため、東京都交通局及び都電沿線3区と連携し、都電荒川線を活用した「都電荒川線スタンプラリー」を実施し、区の魅力をPRしたり、季節に応じた都電荒川線の魅力をPRするため、都電車内を装飾した特別PR電車を東京都交通局協力の下運行する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止したため、未執行となった。

★事業実績	都電荒川線クイズラリー	未実施
	都電ハロウィン号	未実施

(35) 観光客等の受入体制の充実

①6,560 千円 ②3,854 千円 ③58.8%

【P231 2(3) 受入体制整備事業】

区のイメージアップを図るため、観光案内所等を活用し、日暮里繊維街をはじめとした区内観光スポットをPRするとともに、区の魅力を広く発信した。

また、新型コロナウイルス感染症の収束後に備え、宿泊施設や飲食店が外国語ホームページの開設や外国語表記のメニュー作成等を行う際の支援を行った。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、観光ボランティアガイドの会の活動については休止した。

(36) 太田道灌の魅力発信

①5,010 千円 ②220 千円 ③4.4%

【P231 2(4) 太田道灌魅力発信事業】

区に所縁のある武将である「太田道灌」の魅力を発信し、街のにぎわいを創出するとともに誘客促進を図るため、太田道灌所縁の自治体・店舗を招き「日暮里道灌まつり」を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止したため、執行率が低下した。代替として、ふらっとにつぼりでのパネル展、荒川区公式 YouTube での落語「道灌」の配信及び荒川区ホームページでの関連自治体等の紹介を行い、魅力を発信した。

★事業実績

日暮里道灌まつり

3 年 1 2 月 1 日～1 5 日 パネル展開催

3 年 1 2 月 1 日～ 荒川区公式 YouTube での落語「道灌」の配信

(37) 観光イベントの支援

①17,534 千円 ②3,881 千円 ③22.1%

【P231 3 観光イベント支援事業費】

にぎわいと活力あるまちづくりのため、地域の方々が主体となつて行う「川の手荒川まつり」をはじめとした、区民や地域団体が主催するイベントを支援した。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から「第 4 4 回隅田川花火大会」が中止されたため、執行率が低下したが、「川の手荒川まつり」は、新型コロナウイルス感染症に対応した新たな方式によるイベントとして、オンラインで開催した。

★事業実績 川の手荒川まつり開催準備支援 ほかに 2 件

(38) 俳句のまち あらかわの推進

①13,385 千円 ②8,503 千円 ③63.5%

【P231 5 俳句活用事業費】

「荒川区俳句のまち宣言」に基づき、「俳句のまち あらかわ」を区内外に向け、広く PR することで、誘客を促進し、地域のにぎわいを創出するため、区の PR ラッピングを施した都電の運行、フォト俳句コンテストなどのコロナ禍でも実施可能な俳句関連イベントを開催した。

また、地域の商店等に対し、俳句のまちの PR に資する商品開発の支援を行い、区と地域が一体となって、更なる観光振興・産業振興を図った。

★事業実績 フォト俳句コンテスト 応募総数 1,679 句

5 環境先進都市

(1) 環境学習・啓発の充実

①8,483 千円 ②6,559 千円 ③77.3%

【P219 3 環境推進費の一部】

様々なテーマから環境について学ぶ夏休みエコ教室や、あらかわエコセンター内の環境学習農園を活用した講座等を実施し、身近なところから環境問題を考える機会を提供した。

また、会員制の連続講座「あらかわエコジュニアクラブ」では、交流都市等とも連携し、生物の多様性や森林の役割などについて体験を通して学べる場を提供した。

★事業実績	夏休みエコ教室	299人
	あらかわエコジュニアクラブ	25人

(2) 環境活動の推進

①2,616 千円 ②2,027 千円 ③77.5%

【P219 3 環境推進費の一部】

環境に関する啓発展示やVR体験を軸とした「あらかわエコキャラバン」を、ゆいの森あらかわなど3施設にて、感染防止対策を行いながら実施することで、環境意識の向上を図った。

また、区も一事業者として、区施設の省エネ化の促進やあらかわEMSの積極的展開などにより、率先して環境活動を推進した。

★事業実績	あらかわエコキャラバン参加者数	1,165名
	あらかわEMS内部監査実施	15課11施設

(3) 地球温暖化対策事業の推進

①2,369 千円 ②1,561 千円 ③65.9%

【P219 4 地球温暖化・ヒートアイランド対策推進費の一部】

「荒川区地球温暖化対策実行計画」に掲げる削減目標を達成するため、区民・事業者・区が環境区民として協働・連携し、地球温暖化対策協議会を中心として環境施策に対する提言を行ったほか、環境関連事業を通じて広く計画の周知や実践に取り組んだ。

また、シェアサイクル事業においては、サイクルポートの拡充など環境交通の整備に加え、区有施設において二酸化炭素排出係数の低い電力を使用することで、温室効果ガスの削減を図った。

★事業実績	公共用地におけるサイクルポート設置数	31か所
	電力を一括調達した区有施設	83施設

(4) 省エネルギー化の推進

①29,175 千円 ②20,385 千円 ③69.9%

【P219 4 地球温暖化・ヒートアイランド対策推進費の一部】

区民や事業者等を対象として、太陽光発電や燃料電池の導入、宅配ボックスの設置、高断熱窓への改修等に係る費用の一部を助成するとともに、マンション等の集合住宅共用部の省エネ診断事業を実施し、照明のLED化をはじめとした省エネ機器や設備の導入を促進することにより、省エネルギー化の推進を図った。

★事業実績

太陽光発電・燃料電池・宅配ボックス・高断熱窓改修等の助成件数及び金額

103件 6,882千円

集合住宅向け省エネ診断に基づき導入する省エネ設備の設置助成件数及び金額

18件 4,845千円

省エネエアコン助成事業助成件数及び金額

220件 4,657千円

(5) まちの環境美化の推進

①28,639 千円 ②11,828 千円 ③41.3%

【P219 6 まちの環境美化推進費】

公衆喫煙所の整備については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から民間事業者からの申請がなかったため、執行率が低下したが、「わがまちはわが手で美しく」を基本理念として、町会、学校、事業所等の地域団体と連携して、美化活動を実践し、地域の美化意識の向上と環境美化の推進を図った。

また、環境美化マナーアップキャンペーンや啓発指導員による巡回、指定喫煙場所の周知を行うとともに、路面シート等の掲示物を区内各所へ設置することで、「あらかわたばこマナー」を周知・徹底し、地域の喫煙マナー向上を図った。

★事業実績 環境美化マナーアップキャンペーン参加者（計15回） 75人

路面シート 105枚（新規設置）

(6) 荒川もったいない大作戦

①2,587 千円 ②3,294 千円 ③127.3%

【P221 7 普及啓発費の一部】

区民を対象とした食品ロスに関する啓発を引き続き行うとともに、10月の食品ロス削減月間に様々なイベントを行うことで、更なる周知を図った。

また、飲食店や小売店と協力して食品ロスの削減に取り組む「あら！もったいない協力店」の登録店舗と連携し、事業者と消費者の双方へ意識改革を促した。



食品ロス啓発絵本
「あらペンのおねがい」

★事業実績 フードドライブ回収実績 5,699品

(7) 不燃ごみ等の資源化の推進

①122,152 千円 ②106,874 千円 ③87.5%

【P221 1 ごみ収集費の一部】

「荒川区一般廃棄物処理基本計画」において目標として掲げているリサイクルの更なる推進を目指し、不燃ごみ及び金属系粗大ごみの資源化に取り組むとともに、ごみの処分量の減量を図った。

★事業実績 不燃ごみの資源化量 1,342 t
金属系粗大ごみの資源化量 241 t

(8) 集団回収の支援

①321,207 千円 ②302,042 千円 ③94.0%

【P221 1 リサイクル推進費】

集団回収を実施する団体に対する報奨金の支給、集団回収を実施する町会に対する回収支援金の支給、持ち去り対策用物品購入補助金の支給などの支援策を継続して行った。また、資源の持ち去り対策として、パトロール等を行った。

★事業実績

集団回収量 9,633 t
リサイクル推進団体 301 団体



(9) あらかわりサイクルセンターの運営・活用 ①110,835 千円 ②96,721 千円 ③87.3%

【P223 5 リサイクルセンター運営費の一部】

区内で回収した資源(びん・缶・ペットボトル・トレイ)の破砕、圧縮等の中間処理を安定的に実施した。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、施設見学やリサイクル工房、環境学習等の啓発事業については、規模を縮小して実施した。

★事業実績	中間処理量	びん	1, 570, 542 kg
		缶	419, 982 kg
		ペットボトル	881, 304 kg
		トレイ	38, 036 kg

(10) 区民の緑化活動への参加促進 ①9,749 千円 ②5,752 千円 ③59.0%

【P239 1 みどりの条例関係費】

花や緑に対する区民の関心を高め、緑化活動への参加を促し、区内の緑化推進につなげていくための「あらかわ緑・花大賞表彰制度」や、緑化ボランティアのリーダーを養成する「あらかわ園芸名人養成講座」などの事業を実施した。

(11) あらかわバラの市 ①8,791 千円 ②4,340 千円 ③49.4%

【P239 2(2) あらかわバラの市開催事業費】

本区の初夏の風物詩として定着している「あらかわバラの市」については、町屋駅前で開催する予定であった販売会、講習会、演奏会を、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止したため、執行率が低下したが、コロナ禍においても楽しめるよう、「あらかわRoseWeeks2021」と題し、区内の生花商組合と連携した鉢バラの販売や、バラ花壇を巡るスタンプラリーを開催した。

(12) 区民主体の街なか花壇づくり ①13,246 千円 ②10,623 千円 ③80.2%

【P239 3 区民主体の街なか花壇づくり事業費】

花による潤いと安らぎの空間を創出するため、街なかに花壇を設置し、区民が主体となった花壇の維持管理活動を支援した。

★事業実績	街なか花壇設置数	96か所
-------	----------	------

(13) 新たな公園等の整備

①1,259,856 千円 ②1,110,002 千円 ③88.1%

【P241 1 公園新設改良費の一部】

【P241 2 児童遊園新設改良費の一部】

宮前公園北側のエリアについては、テニスコートやスイレン池、メドーガーデン等の整備を進め、4年4月に全面オープンした。

また、都電通りから南側のエリアについては、病院と連携した健康づくりの拠点及び災害時の防災の拠点として、魅力あふれる公園となるよう、計画策定など整備に向けた準備を進めた。

さらに、町屋公園や南千住浄水場跡地についても、それぞれ、区民に親しまれる特色ある公園となるよう、計画の策定等を進めた。

木造住宅密集地域においては、オープンスペースの確保が特に重要であることから、公園等の拡張整備を推進した。



6 文化創造都市

(1) オリンピック・パラリンピック関連事業 ①71,467 千円 ②18,664 千円 ③26.1%

【P177 3 事業運営費の一部】

【P179 3(11) オリンピック・パラリンピック関連事業】

【P249 2 研究費の一部】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、コミュニティライブサイトやパブリックビューイング事業を中止したほか、東京2020オリンピック聖火リレーは公道走行を中止し、点火セレモニーに規模を縮小して実施したため、執行率が低下したが、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、区内でも、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら大会関連の事業を実施し、スポーツへの関心や意欲を高め、未来へ継承されるレガシーとなるよう展開した。

★事業実績

(1) シティドレッシング（都市装飾）

区内8施設 3年7月下旬～9月5日（日）

(2) 東京2020オリンピック聖火リレー点火
セレモニー

南千住野球場 3年7月19日（月）

(3) シットイングバレーボール公式練習会場
荒川総合スポーツセンター

3年8月22日（日）～9月5日（日）



(2) 国内都市交流事業 ①6,079 千円 ②727 千円 ③12.0%

【P157 2 国内交流事業費】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、交流都市への区民ツアーを中止したため、執行率が低下したが、代替事業として訪問先予定であった潮来市の協力の下、区民が自宅で稲栽培を体験できる田植え交流会を実施した。

★事業実績

①荒川区交流都市フェア in 秋まつり（11月）

- ・参加都市（13都市）…広尾町、釜石市、福島市、つくば市、鴨川市、秩父市、佐渡市、射水市、村上市、潮来市、米沢市、大垣市、福井県
- ・交流都市特産品・PRグッズお楽しみ袋プレゼント参加者 233人

②荒川区交流都市フェア in 春まつり（2～3月）

- ・参加都市（国内14都市、海外3都市）…広尾町、釜石市、福島市、つくば市、鴨川市、秩父市、佐渡市、射水市、潮来市、米沢市、大垣市、福井県、鮭川村、

ウィーン市ドナウシュタット区、済州市、大連中山区

・交流都市特産品・PR グッズお楽しみ袋プレゼント参加者 460人

③潮来市・田植え交流会

「今年の夏は！おうちで稲作」

・参加組数 42組

④福島市・桃の引き渡し会

・販売数 718箱



(3)「あらかわ街なか美術館」の整備【新規】

①2,799千円 ②2,588千円 ③92.5%

【P157 4 彫刻の街づくり事業費】

区立施設や公園など区内各地に設置している彫刻について、区内全域を「あらかわ街なか美術館」と見立て、作品への二次元コードシール設置や観光アプリの彫刻紹介ページの充実により、彫刻作品の魅力を広くPRし、芸術文化による魅力あるまちづくりを進めた。



(4) 東京藝術大学との連携

①4,847千円 ②4,267千円 ③88.0%

【P157 6 東京藝術大学との連携事業費】

東京藝術大学との連携事業として、立体部門の卒業・修了制作作品を対象に、荒川区長賞の授与や同作品の区内設置をはじめ、芸術家による子どもを対象としたアートワークショップ、ゆいの森あらかわにおける親子コンサート等、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、区民が芸術文化に親しめる場の更なる創出を図った。

★事業実績

「3年度荒川区長賞」

・『Pietà』（生涯学習センター1階）

・『16:23』（東尾久本町通りふれあい館1階） 累計30作品

「アートワークショップ」（3年度）

・参加者数 69人

「ゆいの森親子コンサート」

・参加者数 121人

・動画再生回数 196回

「洋楽器三重奏×津軽三味線ソロコンサート」

・参加者数 268人

・動画再生回数 前編 27回 ※後編は後日公開予定



(5) 俳句文化の振興

①2,879 千円 ②1,619 千円 ③56.2%

【P157 7 俳句文化振興事業費】

「荒川区俳句のまち宣言」を踏まえ、俳句文化の裾野を広げるため、教員向け俳句講座や区内地域団体及び俳句団体と連携した中高生向けの俳句事業、インターネットを活用した区民が気軽に参加できる投句事業等を実施した。

また、「俳句のまち あらかわ」に関するPRグッズの作成・配布を行うなど、区の俳句文化を区内外に強く発信した。

★事業実績

- ・「あらかわ俳壇」(3年度)

投句数 2,770句

- ・「中高生俳句バトル in あらかわ」

参加者数 122人

- ・「教員向け俳句講習会」(区内小学校教員対象)
- ・「俳句関連展示」(俳句の日：8月19日前後に開催)



(6) ふれあい館の整備

①1,627,530 千円 ②1,585,136 千円 ③97.4%

【P163 1 ふれあい館整備費の一部】

乳幼児から高齢者まで幅広い世代が活動、交流できる地域コミュニティ施設「ふれあい館」について、新たに整備する2館（東尾久及び日暮里地域）の建設工事を行った（2年度着工、4年度開設）。

○施設情報

名 称 東尾久本町通りふれあい館

所 在 地 荒川区東尾久二丁目37番14号

敷地面積 869.64 m²

(外、駐輪場敷地 126.86 m²)

構造、規模 鉄筋コンクリート造3階建て

延床面積 1,592.56 m²

開設年月 4年4月1日

主な施設 和室、洋室(2室、舞台含む)、
多目的室、プレイルーム、
創作室、調理・会議室、音楽室



名 称 ひぐらしふれあい館

所 在 地 荒川区東日暮里六丁目28番15号

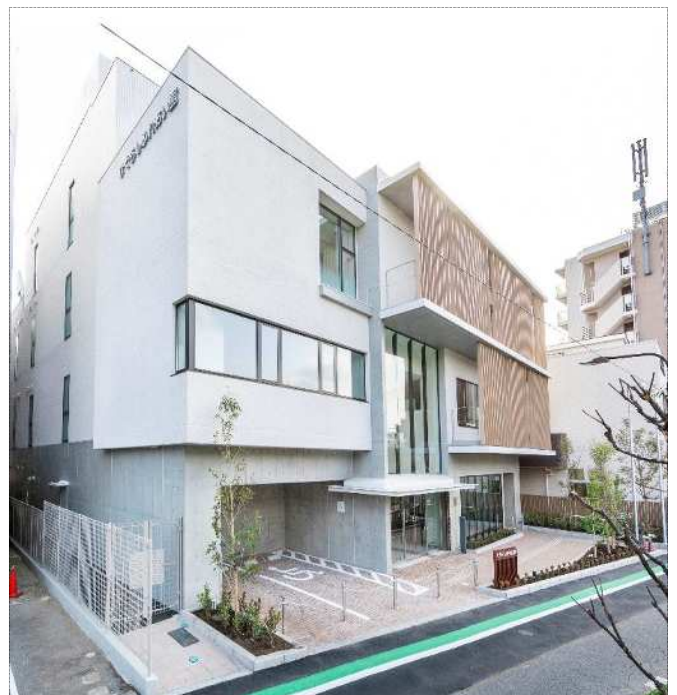
敷地面積 975.73 m²

構造、規模 鉄筋コンクリート造4階建て

延床面積 2310.48 m²

開設年月 4年4月1日

主な施設 和室、洋室(3室、舞台含む)、
多目的室、プレイルーム、創作室、
調理・会議室、音楽室、
レクホール



(7) 荒川コミュニティカレッジ

①7,891 千円 ②3,949 千円 ③50.0%

【P173 14 荒川コミュニティカレッジ管理運営費】

荒川コミュニティカレッジでは開校以来、区と区民の協働の下、生涯学習を軸に様々な世代が仲間をつくり、結び付きを強めるための必要な知識や技術を学ぶ「場」を提供するとともに、学びを生かし、地域で循環させ、地域活動を更に広げる仕組みづくりに取り組んできた。

3年度の講座運営については、新型コロナウイルス感染症への対応や、ICTを推進した事業を展開するため、集合形式の学習方法に加えて、インターネットを活用した学習等を実施した。地域交流コースでは、福島市との交流事業として、オンライン会議システムを活用し、福島市の職員や地域活動実践者から環境美化のまちづくりについて話を伺い、学習成果発表や今後の活動に活かした。

コロナ禍でも学習環境の充実を図り、受講生及び修了生が相互に交流を深め、新たなネットワークを築いて、様々な分野で主体的に地域活動を展開できるよう積極的に支援を行った。

★事業実績

必修コース あらかわ地域交流コース（受講生：13人）、あらかわまちづくりコース（受講生：23人） 各コース全20回実施

選択講座 21回実施（講座動画再配信講座を含む） 参加者：120人

あらかわ学や都立大学連携講座など

公開講座 3回実施 参加者：63人

都立大学連携講座、コミカレ体験講座など

学園祭 参加者：141人 当日までの動画視聴回数：1,000回を超える

サンパール荒川3階、6階にて、集合形式とオンラインを使用して実施

入学式・修了式

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により規模を縮小して実施

地域活動団体登録数 31団体

(8) 特色ある地域図書館づくり

①57,721 千円 ②57,088 千円 ③98.9%

【P175 2(2) 図書館資料費】

【P175 2(3) 読書活動推進事業費】

各地域図書館では、特色を踏まえた独自の取組や資料収集を行ったほか、コミュニティ醸成に資する街なか図書館を充実させ、地域に根差した図書館運営を行った。

3年2月に開館した尾久図書館では、公園内図書館という魅力を最大限に生かし、様々な世代が集い、学び、楽しむことのできる場や機会を提供し、読書を愛するまち・あらかわを更に推進した。

★事業実績 宣言啓発用車両用マグネットシート作成 77枚

尾久図書館での各種イベント開催 参加者延人数128名

(9)町屋文化センターのリニューアル改修工事 ①178,330千円 ②145,383千円 ③81.5%

【P175 1 町屋文化センター管理運営費の一部（施設改修費）】

開設から30年が経過した町屋文化センターについて、リニューアル改修工事を行った。

生涯学習と芸術文化活動の拠点として、イメージを刷新するため、照明のLED化やサインの統一化等を行ったほか、新たな利用者の拡大に向け、フォトスポットや街なかピアノを設置するなど、新たな機能や設備の充実を図った。

(10)江戸伝統技術の保存と継承 ①40,702千円 ②15,170千円 ③37.3%

【P177 2(2) 荒川ふるさと文化館事業推進費の一部】

【P177 3(3) 江戸伝統技術】

荒川区指定無形文化財保持者の伝統技術の映像の記録や作品購入により、その技術と保持者を広く紹介するとともに、「あらかわ学校職人教室」や「あらかわ職人道場」を行い、伝統工芸技術に対する区民等の関心を高めた。

また、伝統工芸技術の習得を目指す方と、受け入れる伝統工芸技術保持者への支援を行い、伝統工芸技術継承者の育成を図った。

さらに、その魅力を区内外に発信するため、荒川区伝統工芸技術保存会との協働により「あらかわ伝統工芸ギャラリー」での作品展示や、実演・体験等を行った。

一方、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、「あらかわの伝統技術展」を中止したため、執行率が低下したが、その代替イベントとして「あらかわ伝統工芸Week」をふるさと文化館に加え、ゆいの森あらかわで開催し、伝統工芸技術のPRを図った。

★事業実績	伝統工芸 Week	作品展観覧者数	1,211人(18日間)
		パネル展観覧者数	14,767人(1か月間)
	映像制作数		1本(累計57本)
	伝統工芸品購入品		漆塗一式(汁椀、飯椀、小判弁当箱、丸重(ピアカップ、寿司道具、漆道具等)
	あらかわ学校職人教室		小学校24校、参加児童数1,780人
	あらかわ職人道場		教室数2教室、参加者16人

(1 1) ゆいの森あらかわの運営

①426, 937 千円 ②394, 246 千円 ③92. 3%

【P177 2 事務管理費】

【P177 3 事業運営費】

【P177 4 中央図書館運営費】

【P177 5 子どもひろば運営費】

【P177 6 吉村昭記念文学館運営費】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を徹底するとともに、ゆいの森あらかわの各機能を有機的に連携させた事業を通じて、区民の生涯学習や子育て支援、地域の文化とコミュニティの醸成を図った。

①中央図書館

区民の課題解決支援など様々な図書館サービスを充実させるとともに、視覚障がい者等が利用しやすい書籍の充実を図るなど、誰もが読書に親しめる環境づくりを進めた。

また、中央図書館として地域図書館との連携を一層強化し、家読（うちどく）の推進など、区民の読書活動を推進する多彩な事業を実施した。

図書館オンラインシステムの更改に伴い、ホームページをリニューアルしたほか、資料検索機能の充実や座席予約システムの全館導入など、利便性の向上を図った。

②吉村昭記念文学館

企画展、WEB展示、講演会、動画配信等を通して、幅広い世代に吉村文学に親しむ機会を提供した。また、「おしどり文学館協定」に基づき、福井県ふるさと文学館と朗読会を同時開催するなど、吉村文学を広く区内外に発信した。友の会会員向けには、限定イベントの開催や、入会手続きの利便性の向上等により、会員満足度の向上を図った。

★事業実績 企画展来館者数 第1回 4, 7 5 1 人、第2回 5, 1 1 5 人
友の会会員数 4 7 0 人

③ゆいの森子どもひろば

「遊びラウンジ」を運営し、子育て世代のコミュニティの形成や子育ての不安を軽減する場を提供した。

また、「学びラウンジ」では、体験型のコンテンツの充実を図り、子どもたちが夢や生きる力を育む場を提供した。

★事業実績 「学びラウンジ」ワークショップの参加人数等 6 5 0 人

(1 2) 次世代育成事業、町会・自治会会館建設助成の充実

①21,400 千円 ②11,598 千円 ③54.2%

【P157 5 町会・自治会活動支援助成費の一部】

【P157 6 町会・自治会会館建設助成費の一部】

町会・自治会役員の担い手となる人材を育成するための支援策や、町会・自治会活動の拠点となる町会・自治会会館の建設等に係る費用を助成することにより、更なる地域力の向上を図った。

7 安全安心都市

(1) 新たな永久水利施設の整備と消火・送水ネットワーク体制の拡充

①181,842 千円 ②112,876 千円 ③62.1%

【P147 1 政策調整費の一部】

【P153 16 永久水利事業費】

【P245 12 永久水利整備事業費】

町屋地区（第四峡田小学校）の永久水利施設は、当初3年度に完了する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響により資器材の納品に遅れが生じ、整備完了時期が4年度となった。

永久水利施設を拠点とした、複数の防災区民組織（町会）や中学校防災部、消防団との連携による消火・送水ネットワーク体制の拡充を図った。

(2) 区内全避難所での避難所開設・運営訓練

①34,564 千円 ②16,021 千円 ③46.4%

【P153 3 防災訓練】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、多くの避難所での避難所開設運営訓練を中止したため、執行率が低下したが、全ての町会を対象とした荒川区避難所エキスパート養成講座を開講することで、震災時における共助体制を強化するとともに、一次避難所における防災区民組織の自主運営能力の向上を図った。

★事業実績

- ・避難所エキスパート養成講座の開講 2回（対象：全120町会等）
- ・2避難所において、備蓄倉庫の確認等を中心とした避難所開設・運営訓練を実施

(3) 感震ブレーカーの普及促進

①25,984 千円 ②9,989 千円 ③38.4%

【P153 4 防災普及啓発費の一部】

感震ブレーカーの設置・購入費用の助成を行うとともに、発災時に避難行動をとることが難しい高齢者のみ世帯や障がい者がいる世帯、住民税非課税世帯を対象とした「簡易型感震ブレーカー」及び「自動点灯ライト」の無料配付事業を継続して実施した。

屋内安全対策器具設置等助成事業において、30年度から元年度にかけて、集合住宅の世帯への本事業の周知を図り、元年度には申請及び請求が急増した実績に基づいて、3年度の予算を計上したところ、想定よりも申請が少なかったため、執行率の低下につながった。

★事業実績

感震ブレーカー無料配布 50件（分電盤型感震ブレーカー助成 167件）

(4) 治安対策事業の推進

①174,992 千円 ②163,865 千円 ③93.6%

【P153 13 荒川区安全・安心ステーション】

【P153 14 自転車盗難対策費】

【P153 15 防犯カメラを活用した防犯環境の整備】

【P153 18 治安向上対策事業費】

①街頭防犯カメラの普及

町会の防犯活動を支援する一環として、防犯カメラを設置する町会に対して、経費を補助するなど、積極的に支援した。

★事業実績 防犯カメラ設置・更新台数 町会・商店会 25 台 区 22 台

②安全・安心パトロールカーによるパトロール

防犯意識の啓発や個別事案発生時の注意喚起など、パトロールを機動的に展開させることにより、犯罪抑止効果の向上と区民の安全安心の確保を図った。

③区民による防犯活動の活性化

区内事業者等による「ながら見守り活動」について、新たに柔道整復師会と協定を締結したほか、町会や防犯協会、ウォーキング協会、理容生活衛生同業組合、緑化活動団体、宅地建物取引業協会に対し、区民による防犯活動の活性化に向け積極的に支援するとともに、区民の防犯意識を高めるため、防犯講話をふれあい館等で実施した。

★事業実績 防犯講話実施回数 15 回
参加人数 242 人

④住まいの防犯対策の充実

空き巣などの侵入盗を防止するために、住まいの防犯対策補助制度の積極的な周知を通じて、防犯カメラや録画機能付きドアホンなどの普及を図り、防犯対策を強化した。

また、補助錠の無料配布を高齢者各戸訪問等で実施し、区民の防犯意識の高揚を図った。

★事業実績 住まいの防犯対策補助金申請件数 308 件

⑤自転車盗難対策

区内の自転車盗難被害の状況を分析し、盗難多発地区の安全・安心パトロールカーの巡回や自転車盗難防止指導員によるパトロール、自転車商組合や町会、警察署等と連携したカギ掛けを呼び掛けるキャンペーン、チェーン型チラシの取り付けなどを実施した。

★事業実績 チェーン型チラシ取付台数 17,124 台

(5) 特殊詐欺対策

①18,651 千円 ②14,961 千円 ③80.2%

【P153 17 特殊詐欺対策事業費】

キャッシュカード手交型詐欺やオレオレ詐欺等の被害を防ぐために、区民等から提供された不審電話情報の共有化と発生場所の集中パトロール、防災行政無線による被害防止の周知、ATM警戒、電話自動通話録音機の設置促進等の取組を展開した。

また、高齢者の独居世帯に各戸訪問等を実施し、詐欺の手口や対策等について周知したほか、区内全中学生に対して漫画形式のチラシを配布し、受け子などで特殊詐欺に加担することのないよう注意喚起を行った。

★事業実績 自動通話録音機貸与数 1,025台
各戸訪問等実施件数 7,037件

(6) 交通安全対策の推進

①21,853 千円 ②18,111 千円 ③82.9%

【P155 19 交通安全対策費の一部】

【P235 5 交通安全施設整備費の一部】

交通事故の半数以上を占める自転車事故を防ぐために、主に小学生を対象に実施している自転車安全利用講習会や、高齢者団体への出前講座、区内交差点等における街頭啓発キャンペーンなど、自転車の安全利用を呼び掛ける取組を、警察署と連携して実施した。

また、TSマーク取得や、高齢者の運転免許証自主返納の支援を継続するとともに、ながらスマホの防止に関する条例の周知を図るため、区内の携帯電話販売店へのポスター掲示や駅構内等へののぼり旗設置など、区内事業者と連携した取組を展開した。

ハード対策としては、地域住民や警察署の意見を踏まえ、自転車事故の危険性が高い道路や交差点を選定し、滑り止め舗装、注意を喚起するための路面標示、電柱幕、看板の設置などの安全対策を重点的に行ったほか、3年6月に他自治体で発生した小学生死傷事故を受け通学路の安全対策を実施した。

★事業実績 自転車安全利用講習会 25回実施
参加人数 1,471人
自転車保険（TSマーク）加入促進事業 申請件数 393件
高齢者運転免許証自主返納支援事業 申請件数 365件



(7) 防災スポットの整備

①202,282 千円 ②183,171 千円 ③90.6%

【P155 22 防災設備整備・改修費】

【P245 13 不燃化特区整備促進事業費の一部】

不燃化特区内の防災性の向上に資するため、小規模なオープンスペースを確保するとともに、初期消火や救助活動に必要な資機材を配置した。

★事業実績

用地取得 2 件

整備 2 件

1 荒川六丁目防災スポット用地

1 町屋三丁目陸防災スポット

2 西尾久二丁目防災スポット拡張用地

2 東尾久一丁目西防災スポット

(8) 学校・学童クラブ・にこにこすくーる安全パトロール

①112,228 千円 ②107,844 千円 ③96.1%

【P203 8 放課後子ども総合プラン等事業費の一部】

【P203 10 学童クラブ安全対策事業費の一部】

【P253 7 学校安全対策費の一部】

下校時の低学年児童等の安全を確保するため、全ての小学校、学童クラブ及びにこにこすくーるにおいて、帰宅時間に合わせて、安全パトロールを実施した。

★事業実績 安全パトロール実施校数 24 校

(9) 地籍調査の拡充

①28,041 千円 ②26,711 千円 ③95.3%

【P233 5(2) 地籍調査事務費】

土地の最も基礎的な情報である地籍（土地所有者、地番、地目、境界、面積）を明らかにすることにより、災害復旧の迅速化、土地取引の円滑化、土地資産の保全、公共事業の効率化等に寄与した。

★事業実績 全体の進捗率 3.71%

・尾久地区（西尾久一・二丁目、東尾久五丁目の一部）7ha

・町屋地区（町屋二・三・四丁目の一部）6ha

(1 0) 不燃化特区の整備促進

①846,722 千円 ②541,928 千円 ③64.0%

【P235 5 主要生活道路拡幅整備費の一部】

【P245 13 不燃化特区整備促進事業費の一部】

大規模地震発生時において、火災から住民の生命及び財産を守るため、不燃化特区である「荒川・南千住地区」及び「町屋・尾久地区」において、老朽建築物の建替えや除却の促進による地域の不燃化、公園・広場等のオープンスペースの整備、主要生活道路の拡幅整備、都市計画道路整備等を重点的かつ集中的に取り組み、燃えない・燃え広がらない災害に強い街づくりを推進した。

★事業実績 主要生活道路（用地取得 13 件・整備 13 件）

不燃化建て替え助成 37 件

老朽建物除却助成 85 件

密集建替え助成 1 件

不燃領域率 （荒川・南千住地区） 65.1%

（町屋・尾久地区） 64.1%

(1 1) 細街路拡幅整備の推進

①450,905 千円 ②502,981 千円 ③111.6%

【P237 1 細街路拡幅整備事業費】

防災性の向上や居住環境の改善を図るため、建築物の新築・建替え等の際に、建築主等の協力を得て細街路を拡幅整備した。

また、事業の推進を図るため、建築主等に対し、拡幅する用地の整備に要する費用の一部を助成した。

★事業実績 整備延長 2,606 m

整備面積 1,488 m²

後退用地整備率（3 年度末） 47%

(1 2) 都市防災不燃化の促進

①16,864 千円 ②7,790 千円 ③46.2%

【P243 3 都市防災不燃化促進事業費】

大規模地震発生時において、火災の延焼拡大防止と避難路の安全性を確保するため、補助 90 号線第三地区（町屋駅前から明治通りまで）において、耐火建築物の建築主に対して建築費の一部を助成した。

ホームページや区報等により本事業の PR に努めたが、助成金申請件数が見込みより少なく、助成金を上乗せできる除却費や三世代住宅の対象がなかったため、執行率の低下につながった。

★事業実績 補助 90 号線第三地区 2 件

(13) 木造・非木造建物耐震化の推進

①104,394 千円 ②66,489 千円 ③63.7%

【P243 9(1) 木造建物耐震化推進事業費】

【P243 9(2) 非木造建物耐震化推進事業費】

大規模地震による倒壊等のおそれがある旧耐震基準の木造及び非木造建物の所有者に対して、耐震診断、耐震補強工事及び耐震建替え工事、除却等に要する費用の一部を助成することで、建物の耐震性等の向上を図った。

★事業実績	耐震診断	木造	26件	非木造	3件
	耐震補強設計	木造	1件	非木造	2件
	耐震補強工事	木造	1件	非木造	2件
	耐震建替え工事	木造	4件	非木造	0件
	除却工事	木造	16件		
	防災ベッド設置		1件		

(14) 特定緊急輸送道路沿道建物耐震化の推進

①54,913 千円 ②51,650 千円 ③94.1%

【P243 9(3) 特定緊急輸送道路沿道建物耐震化推進事業費】

特定緊急輸送道路となっている日光街道、尾久橋通り、明治通りの一部について、その沿道建物の耐震化に要する費用の一部を助成することで、建物倒壊による道路の閉塞を防ぎ、広域的な避難路及び輸送道路を確保した。

★事業実績	耐震補強工事	1件	除却工事	1件
-------	--------	----	------	----

(15) 空き家対策のさらなる推進

①34,946 千円 ②30,028 千円 ③85.9%

【P243 10 空き家対策事業費】

「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、危険度の高い老朽空き家については、特定空き家等への指定を視野に入れ、所有者等の指導を徹底し、除却を進めた。

また、利用可能な空き家について、利用希望者と所有者をマッチングさせるための取組を行った。

★事業実績	荒川区特定空家等対策審査会	3回開催
	空き家相談会	5回開催
	老朽空家住宅除却助成	17件
	危険老朽空家住宅除却助成	3件
	マッチング実績件数	5件

(16) 学校情報配信システム

①1,663 千円 ②1,660 千円 ③99.8%

【P253 7 学校安全対策費の一部】

【P257 12 学校安全対策費】

【P263 7 その他運営費の一部】

子どもの安全に関わる情報をいち早く保護者に知らせるため、携帯メール等への配信を行う「学校情報配信システム」について、全区立小中学校、幼稚園及びこども園で実施した。

★事業実績 【登録者数・登録率】合計 12,618人(98.1%)※3年12月末現在

(17) 児童安全推進員の配置

①51,265 千円 ②48,092 千円 ③93.8%

【P253 7 学校安全対策費の一部】

【P263 12 安全対策費】

【P263 9 安全対策費】

児童の安全を確保するため、全区立小学校、こども園及び預かり教育を実施する幼稚園に児童安全推進員を配置し、来校者への応対等を行い、不審者の発見に努めるなど安全体制を整備した。

★事業実績 【配置校・園数】小学校24校

こども園1園

幼稚園1園(預かり教育実施園)

(18) 市街地再開発事業の推進

①319,200 千円 ②274,960 千円 ③86.1%

【P243 4 市街地再開発事業費】

市街地の土地の合理的かつ健全な高度利用、住環境の整備、都市機能の更新及び駅前地区の活性化を目指し、三河島駅前北地区及び西日暮里駅前地区において、市街地再開発事業を推進した。

また、三河島駅前北地区及び西日暮里駅前地区とも、3年6月に都市計画決定するとともに、準備組合に対し、事業計画作成(基本設計、建物調査等)に係る費用の一部を助成した。

★事業実績 三河島駅前北地区 都市計画決定

西日暮里駅前地区 都市計画決定

8 計画推進のために

(1) 職員の業務等における感染症対策の推進 ①66,500 千円 ②47,449 千円 ③71.4%

【P145 6 人材育成事業費の一部】

【P147 3 情報系システム運用管理費の一部】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大時等の業務継続性の確保や、執務室の密集状況の改善を図るため、職員が自宅等から庁内端末にアクセスし、業務を行うことができるテレワークシステムの構築を行った。

また、職員研修についてはオンライン化を進め、研修受講機会の充実を図った。

★事業実績	テレワーク利用	1, 6 3 4 件
	オンライン職員研修	6 9 研修実施／2, 3 1 4 人受講

(2) 公金収納のキャッシュレス化の推進 ①2,908 千円 ②60 千円 ③2.1%

【P145 1 出納事務費の一部】

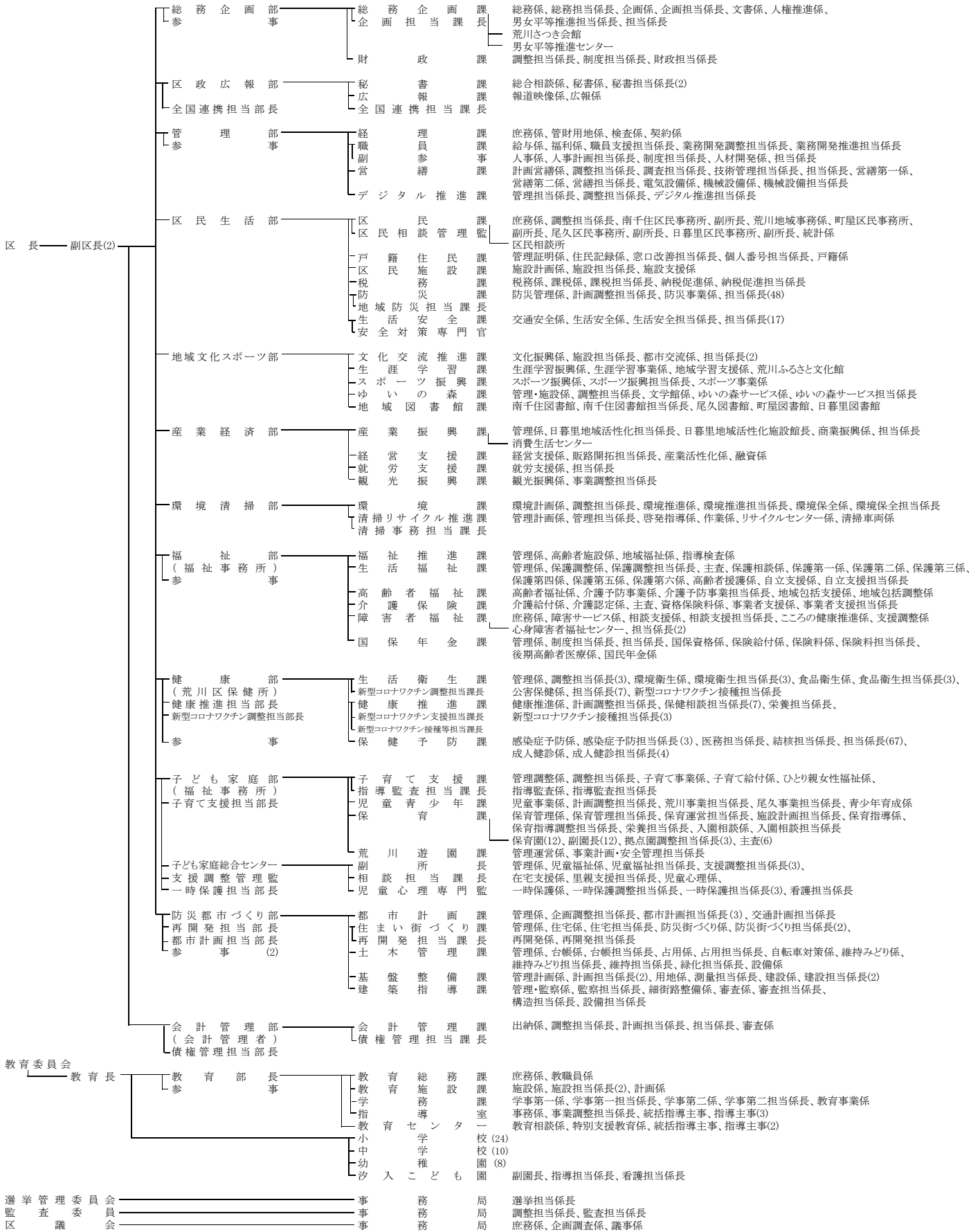
区民サービスの向上を図るため、戸籍住民課及び税務課の窓口における各種証明書等の交付手数料の支払に交通系電子マネーによるキャッシュレス決済を導入した。

導入に際しては、窓口における申請者の動線等を再検証し、キャッシュレス決済端末器の設置台数を予算計上した19台から3台に絞り込むとともに、調達方法も買取りからリースへと変更するなどの工夫をした。

こうしたハード面に加え、ソフト面においても公金収納の誤り等を防止するため、窓口業務を担当する職員を対象にキャッシュレス決済端末器の操作研修を十分に行い、3年10月から運用を開始した。このことにより予算上1年間の運営経費を見込んでいた期間が6か月間となり、執行率の低下につながった。

荒川区行政組織図

令和4年4月1日現在



福祉・保健施設等位置図

▲ 社会福祉施設

No.	名称	No.	名称
1	荒川老人福祉センター	15	特別養護老人ホームさくら館 コミュニティガーデンさくら
2	特別養護老人ホーム グリーンハイム荒川	16	特別養護老人ホーム 癒しの里南千住
3	高齢者通所サービスセンター グリーンハイム荒川在宅	17	特別養護老人ホームおたけの郷
4	特別養護老人ホーム サンハイム荒川	18	荒川生活実習所 荒川福祉作業所
5	荒川東部在宅高齢者 通所サービスセンター	19	心身障害者福祉センター (荒川たんぼセンター)
6	町屋在宅高齢者 通所サービスセンター	20	障害者福祉会館 (アクロアスカワ)
7	西日暮里在宅高齢者 通所サービスセンター	21	町屋三丁目障がい者就労 支援施設(スタートまちや)
8	東日暮里在宅高齢者 通所サービスセンター	22	障がい者地域生活支援施設 (スクラムあらかわ)
9	授産施設 (いきいきワーク荒川)	23	精神障害者地域生活支援センター (支援センターアゼリア)
10	特別養護老人ホーム 信愛のぞみの郷	24	尾久生活実習所分場 (あらかわ希望の家分場)
11	西尾久東部在宅高齢者 通所サービスセンター	25	尾久生活実習所 (あらかわ希望の家)
12	特別養護老人ホーム 花の木ハイム荒川	26	グループホームひぐらし
13	花の木ハイム荒川在宅高齢者 通所サービスセンター	27	東日暮里三丁目障がい者支援施設
14	南千住中部在宅高齢者 通所サービスセンター	28	西日暮里六丁目障がい者支援施設

◎ 地域包括支援センター

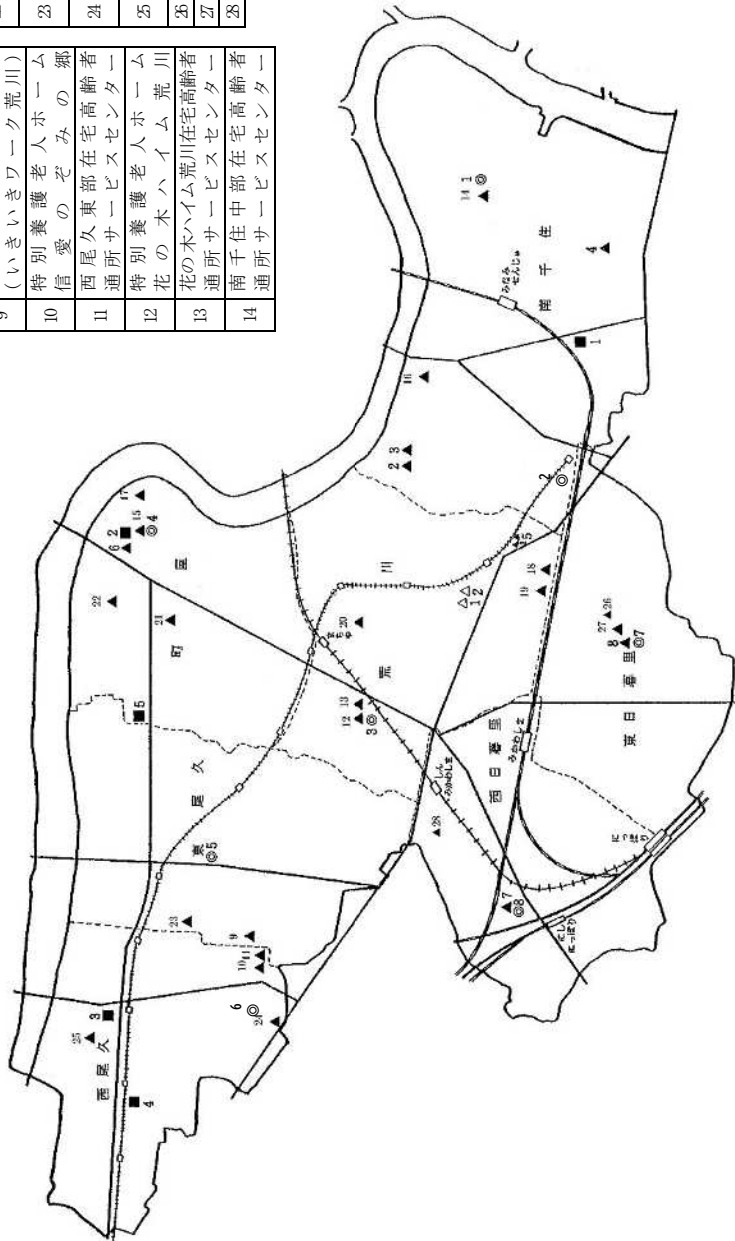
No.	名称
1	南千住東部地域包括支援センター
2	南千住西部地域包括支援センター
3	荒川地域包括支援センター
4	町屋地域包括支援センター
5	東尾久地域包括支援センター
6	西尾久地域包括支援センター
7	東日暮里地域包括支援センター
8	西日暮里地域包括支援センター

△ 保健施設

No.	名称
1	保健所
2	保健所 (がん予防・健康づくりセンター)

■ 住宅

No.	名称
1	南千住二丁目住宅 (さくらハイツ南千住)
2	町屋七丁目住宅 (さくらハイツ町屋)
3	西尾久三丁目住宅 (さくらハイツ小台)
4	西尾久七丁目住宅 (さくらハイツ西尾久)
5	町屋五丁目住宅



子育て施設等位置図

○ 学 童 ク ラ ブ

No.	名 称
1	南千住四丁目学童クラブ
2	南千住第一学童クラブ
3	南千住第二学童クラブ
4	汐入学童クラブ
5	峠田学童クラブ
6	花の木学童クラブ
7	五峯小学学童クラブ
8	大門小学学童クラブ
9	熊野前学童クラブ
10	尾久小学学童クラブ
11	西尾久小学学童クラブ
12	東日暮里小学学童クラブ
13	三日小学学童クラブ
14	西日暮里二丁目学童クラブ
15	赤土小学学童クラブ
16	七峯小学学童クラブ
17	二峯小学学童クラブ
18	三峯小学学童クラブ
19	二端小学学童クラブ
20	九峯小学学童クラブ
21	二日小学学童クラブ
22	汐入小学学童クラブ
23	四峯小学学童クラブ
24	六日小学学童クラブ
25	日暮里小学学童クラブ
26	汐入東小学学童クラブ
27	尾久小学学童クラブ
28	南千住六丁目学童クラブ

No.	名 称
1	三河島保育園
2	東尾久保育園
3	南千住保育園
4	西尾久保育園
5	第二南千住保育園
6	荒川保育園
7	西日暮里保育園
8	第二東日暮里保育園
9	熊野前保育園
10	原 保 育 園
11	荒川さつき保育園
12	西尾久みどり保育園
13	ひぐらし保育園
14	上尾久保育園
15	汐入とちのき保育園
16	南千住さくら保育園
17	はなみずき保育園
18	南千住七丁目保育園
19	タヤけこやけ保育園

● 私 立 保 育 園

No.	名 称
1	上智厚生館保育園
2	仁 風 保 育 園
3	尾久隣保保育園
4	ドン・ボスコ保育園
5	子供の家愛育保育園
6	至誠会第二保育園
7	南千住駅前保育所
8	グロバーバルキッズ 日暮里駅前保育園
9	にじの樹保育園
10	ぽけっとランド 南千住瑞光保育園
11	ういず東日暮里保育園
12	グロバーバルキッズ 東 日 暮 里 園
13	町屋保育園
14	ポポラー東 京 園
15	東 日 暮 里 園
16	新 三 河 島
17	コンビプラザ南千住保育園
18	ピノキオ幼舎南千住園
19	太陽の子わがば保育園
20	キッズおおぞら保育園

No.	名 称
20	にじの森保育園
21	小台ここわ保育園
22	東日暮里おんぱく保育園
23	ういず町屋保育園
24	日暮里さくら保育園
25	ういず南千住駅前保育園
26	AIAI NURSERY 西 日 暮 里 一 丁 目
27	まなびの森保育園町屋
28	上智聖ローザ保育園
29	グロバーバルキッズ御膳保保育園
30	まなびの森保育園西日暮里
31	日 暮 里 保 育 園
32	まなびの森保育園三河島
33	小 台 橋 保 育 園
34	タムスわんぱく 保 育 園 荒 川
35	ピノキオ幼児舎 東 尾 久 保 育 園
36	大空と大地のなーさーい 荒 川 西 尾 久 園
37	麗華ひなた保育園
38	オランジェナースーアリー
39	さくらさくみらい西日暮里

★ 小規模保育事業

No.	名 称
1	かんかんもり保育園
2	フレんズ保育園
3	ハローフレんズ保育園

◆ 家庭的保育事業

No.	名 称
1	細 田 保 育 園
2	家庭保育園スノードロップ
3	お は な 保 育 室

☼ 認証 保 育 所

No.	名 称
1	み る く 保 育 園
2	か が や 保 育 園
3	カナリヤ保育園
4	キッズステーション のびのび保育園
5	キッズガーデン保育園
6	な か よ し 保 育 園
7	花 さ と 保 育 園
8	あ つ ぶ る 園
9	ぽけっとランド南千住
10	M I R A T Z 東 尾 久 保 育 園
11	あぶりこつとナーサリー

☆ 子 育 て 施 設 等

No.	名 称
1	子 ど も 家 庭 合 セ ン タ ー

▼ 認 定 こ ど も 園

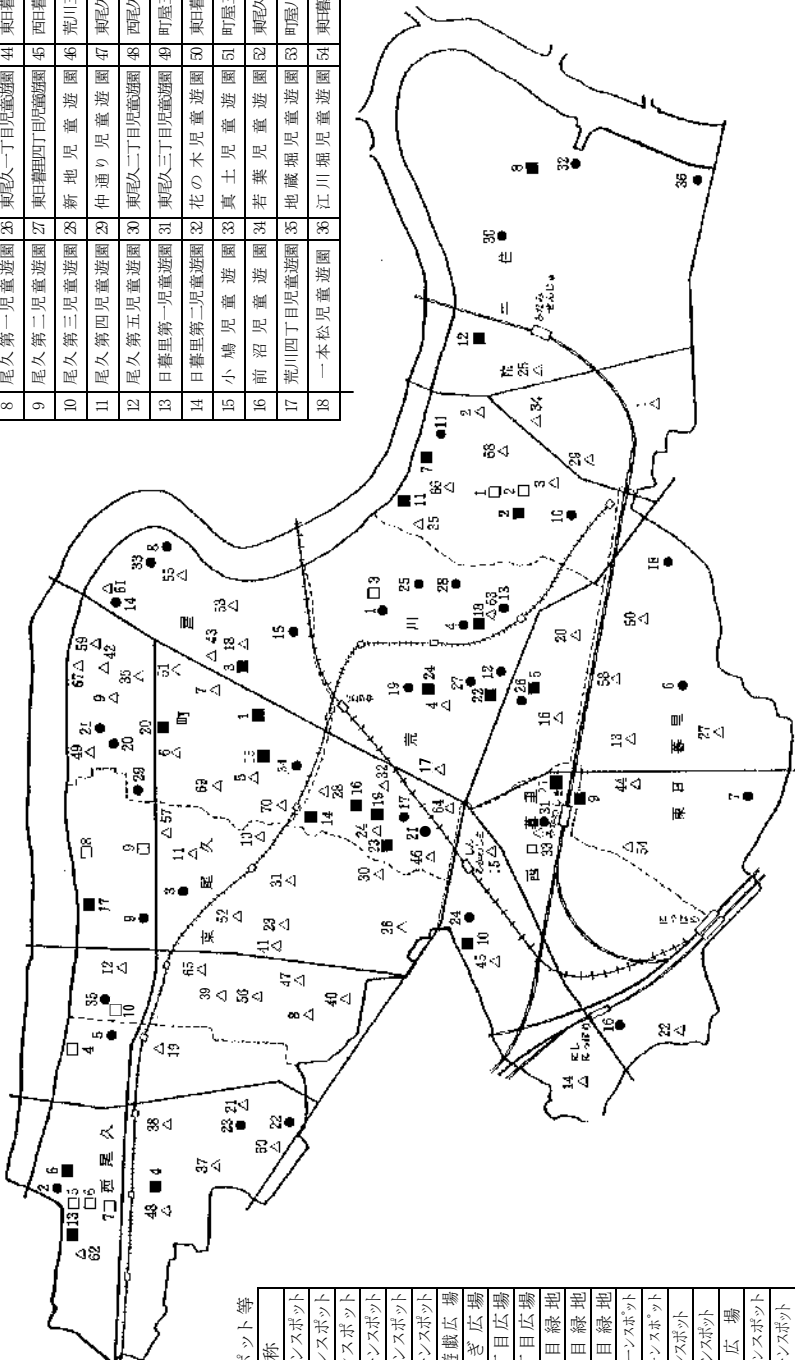
No.	名 称
1	ワ タ ナ バ 学 園

公園・児童遊園等及び運動施設位置図

(令和4年3月31日時点)

△ 児童遊園

No.	名称	No.	名称	No.	名称
1	南千住第一児童遊園	19	八幡児童遊園	55	町屋七丁目児童遊園
2	南千住第二児童遊園	20	峽田児童遊園	56	東尾久五丁目南児童遊園
3	南千住第四児童遊園	21	西尾久一丁目児童遊園	57	東尾久六丁目児童遊園
4	三河島第二児童遊園	22	花見寺前児童遊園	58	東日暮里三丁目児童遊園
5	町屋第二児童遊園	23	本町通児童遊園	59	町屋六丁目児童遊園
6	町屋第三児童遊園	24	荒川六丁目児童遊園	60	西尾久四丁目児童遊園
7	町屋第四児童遊園	25	三瑞児童遊園	61	町屋七丁目北児童遊園
8	尾久第一児童遊園	26	東尾久一丁目児童遊園	62	西尾久八丁目児童遊園
9	尾久第二児童遊園	27	東日暮里四丁目児童遊園	63	荒川一丁目児童遊園
10	尾久第三児童遊園	28	新地児童遊園	64	荒川五丁目児童遊園
11	尾久第四児童遊園	29	仲通り児童遊園	65	東尾久五丁目児童遊園
12	尾久第五児童遊園	30	東尾久二丁目児童遊園	66	若宮八幡児童遊園
13	日暮里第一児童遊園	31	東尾久三丁目児童遊園	67	町屋六丁目北児童遊園
14	日暮里第二児童遊園	32	花の木児童遊園	68	南千住六丁目児童遊園
15	小鳩児童遊園	33	真土児童遊園	69	町屋四丁目児童遊園
16	前沼児童遊園	34	若葉児童遊園	70	町屋二丁目児童遊園
17	荒川四丁目児童遊園	35	地蔵場児童遊園		
18	一本松児童遊園	36	江川堀児童遊園		



■ グリーンスポット等

No.	名称
1	町屋三丁目グリーンスポット
2	千住開道グリーンスポット
3	西尾久五丁目グリーンスポット
4	西尾久六丁目グリーンスポット
5	荒川三丁目グリーンスポット
6	西尾久六丁目グリーンスポット
7	南千住浄水場遊戯広場
8	汐入せせらぎ広場
9	西日暮里一丁目広場
10	西日暮里六丁目広場
11	南千住六丁目緑地
12	南千住七丁目緑地
13	西尾久八丁目緑地
14	町屋六丁目西グリーンスポット
15	町屋四丁目西グリーンスポット
16	荒川六丁目グリーンスポット
17	東尾久八丁目グリーンスポット
18	荒川一丁目広場
19	荒川五丁目グリーンスポット
20	町屋四丁目北グリーンスポット
21	荒川五丁目西グリーンスポット
22	荒川二丁目グリーンスポット
23	荒川五丁目北グリーンスポット
24	ゆいの森あいさつ広場
25	真土小思い出広場

● 公園

No.	名称
1	荒川自然公園
2	荒川遊園
3	尾久小公園
4	三河島公園
6	日暮里公園
7	日暮里南公園
8	尾竹橋公園
9	熊野前公園
10	瑞光公園
11	天王公園
12	荒川公園
13	荒川東公園
14	荒木田公園
15	藍染公園
16	西日暮里公園
17	荒川五丁目公園
18	東日暮里一丁目公園
19	町屋五丁目公園
20	町屋五丁目北公園
21	西尾久四丁目公園
22	西尾久四丁目北公園
23	西日暮里六丁目公園
24	荒川八丁目公園
25	荒川三丁目公園
26	荒川二丁目南公園
27	荒川二丁目北公園
28	荒川八丁目南公園
29	原公園
30	リバーハブ公園
31	真土公園
32	瑞光橋公園
33	町屋七丁目公園
34	町屋二丁目公園
35	宮前公園
36	南千住三丁目公園

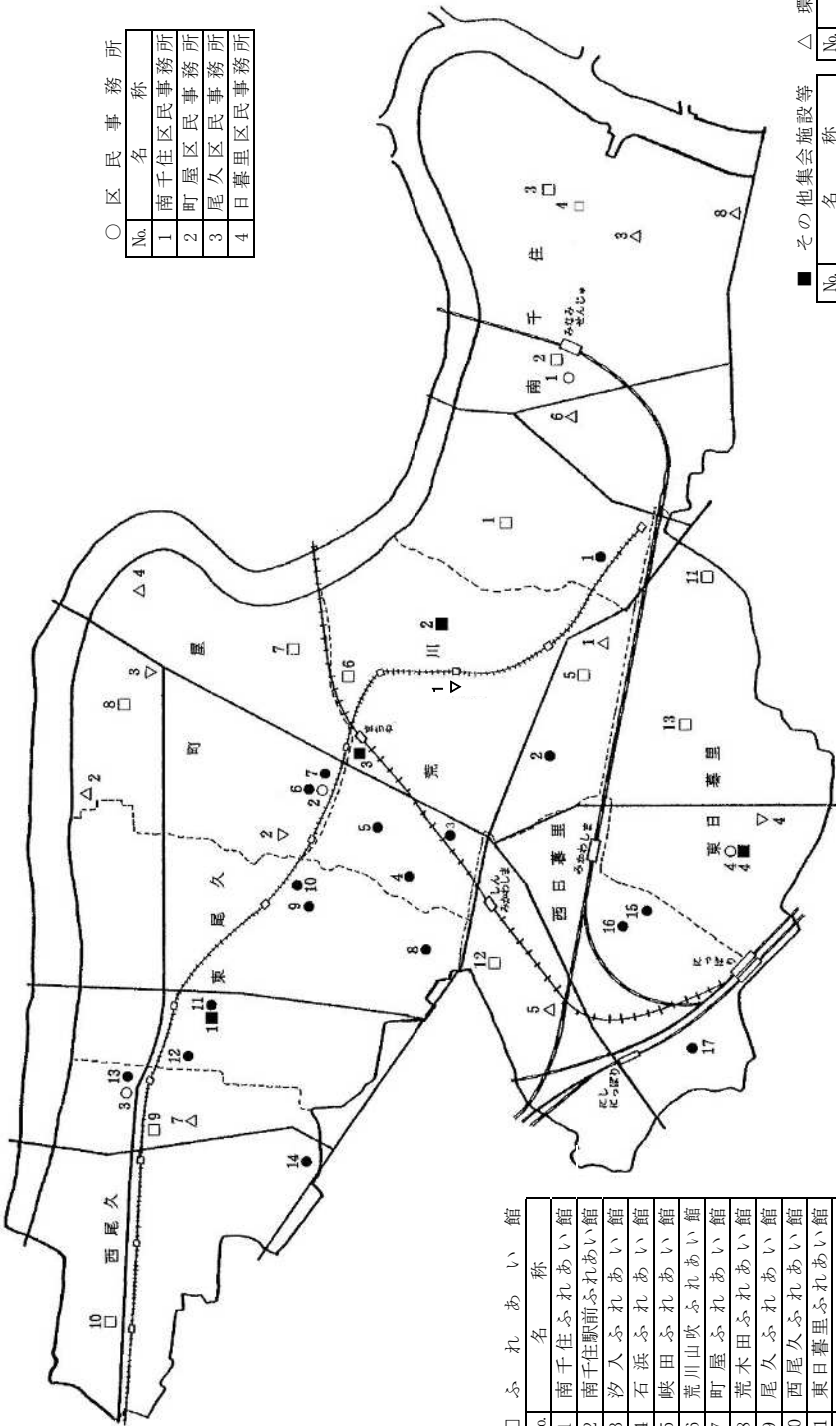
□ スポーツ施設

No.	名称	内容
1	南千住野球場	野球
2	荒川総合スポーツセンター	野球場、体育館、卓球場、キッズルーム等
3	荒川自然公園	野球場、庭球場、徒渉池、ジョギングコース
4	区民運動場	多目的グラウンド、テニス・バスケットボール兼用コート

No.	名称	内容
5	荒川遊園子どもプール	屋外プール
6	荒川遊園スポーツハウス	テニス、バレー、エアロ等
7	荒川遊園運動場	多目的広場
8	東尾久運動場	庭球場、小広場
9	東尾久運動場	多目的広場
10	宮前公園	庭球場

区民事務所・ふれあい館・区民ひろば館・環境関連施設等位置図

(令和4年3月31日時点)



○ 区民事務所

No.	名称
1	南千住区民事務所
2	町屋区民事務所
3	尾久区民事務所
4	日暮里区民事務所

● 区民ひろば館

No.	名称
1	南千住区民事務所
2	西日暮里区民事務所
3	三河島ひろば館
4	宮地ひろば館
5	花の木ひろば館
6	荒川六丁目ひろば館
7	町屋区民事務所ひろば館
8	町屋二丁目ひろば館
9	東尾久小沼ひろば館
10	東尾久ひろば館
11	熊野前ひろば館
12	宮の前ひろば館
13	尾久区民事務所ひろば館
14	西尾久みどりひろば館
15	日暮里ひろば館
16	西日暮里二丁目ひろば館
17	諏訪台ひろば館

□ ふれあい館

No.	名称
1	南千住ふれあい館
2	南千住駅前ふれあい館
3	汐入ふれあい館
4	石浜ふれあい館
5	峽田ふれあい館
6	荒川山吹ふれあい館
7	町屋ふれあい館
8	荒木田ふれあい館
9	尾久ふれあい館
10	西尾久ふれあい館
11	東日暮里ふれあい館
12	西日暮里ふれあい館
13	夕やけこやけふれあい館

▽ 安全安心ステーション

No.	名称
1	峡田安全・安心ステーション
2	町屋安全・安心ステーション
3	荒木田安全・安心ステーション
4	日暮里安全・安心ステーション

■ その他集会施設等

No.	名称
1	男女平等推進センター (アクト21)
2	荒川さつき会館
3	JOBコーナー町屋
4	日暮里地域活性化施設 (ふらっとにつぼり)

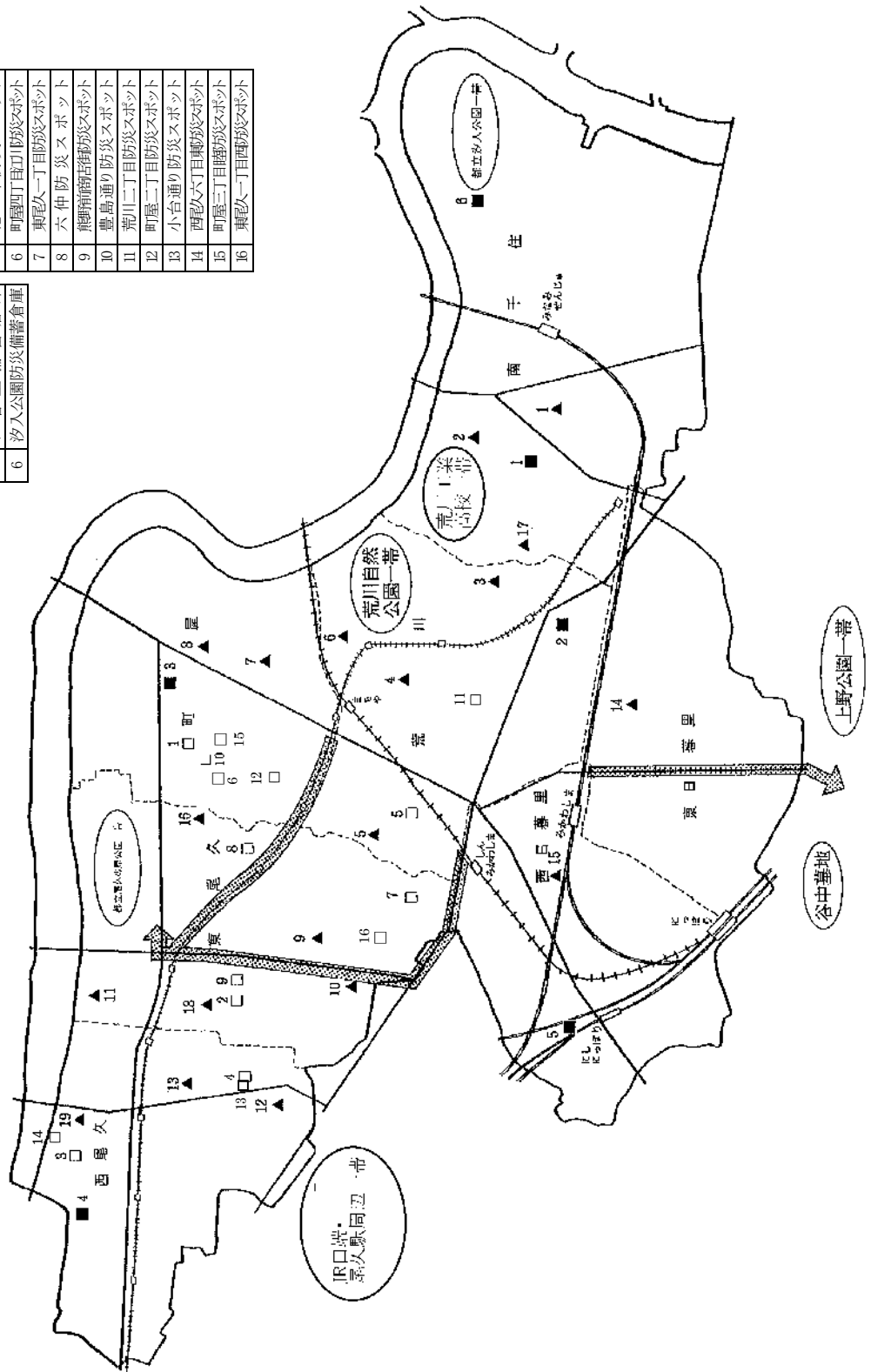
△ 環境関連施設

No.	名称
1	あらかわエコセンター
2	清掃リサイクル事務所
3	南千住清掃車庫
4	尾竹橋施設
5	日暮里リサイクルハウス
6	南千住リサイクルハウス
7	尾久リサイクルハウス
8	あらかわリサイクルセンター

広域避難所・防災広場等位置図

■ 備蓄倉庫		□ 防災スポット	
No.	名称	No.	名称
1	東京都南千住倉庫	1	町屋三丁目防災スポット
2	荒川防災備蓄倉庫	2	東尾久五丁目防災スポット
3	町屋備蓄倉庫	3	西尾久六丁目防災スポット
4	尾久備蓄倉庫	4	西尾久一丁目防災スポット
5	日暮里備蓄倉庫	5	花の木防災スポット
6	汐入公園防災備蓄倉庫	6	町屋四丁目防災スポット
		7	東尾久一丁目防災スポット
		8	六甲防災スポット
		9	豊島通り防災スポット
		10	荒川二丁目防災スポット
		11	町屋二丁目防災スポット
		12	小台通り防災スポット
		13	西尾久六丁目防災スポット
		14	町屋三丁目防災スポット
		15	東尾久一丁目防災スポット

No.	名称
1	東京都南千住倉庫
2	荒川防災備蓄倉庫
3	町屋備蓄倉庫
4	尾久備蓄倉庫
5	日暮里備蓄倉庫
6	汐入公園防災備蓄倉庫



▲ 防災広場	
No.	名称
1	南千住五丁目防災広場
2	南千住六丁目防災広場
3	荒川一丁目防災広場
4	荒川二丁目防災広場
5	荒川七丁目防災広場
6	町屋一丁目防災広場
7	町屋八丁目防災広場
8	東尾久二丁目防災広場
9	東尾久四丁目防災広場
10	東尾久八丁目防災広場
11	西尾久一丁目防災広場
12	西尾久二丁目防災広場
13	東日暮里三丁目防災広場
14	西日暮里一丁目防災広場
15	東尾久六丁目防災広場
16	南千住一丁目防災広場
17	東尾久五丁目防災広場
18	西尾久三丁目防災広場
19	東尾久三丁目防災広場

